

色麻町教育委員会の事務の管理及び執行状況
についての点検及び評価の結果報告書
(平成25年度実績)

平成26年8月

色 麻 町 教 育 委 員 会

I はじめに

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成25年度の色麻町教育委員会の教育基本方針に基づく具体的施策や重点事業等の実施状況について点検及び評価を行うものです。さらに、学識経験者の意見を聴取したうえで、課題や今後の改善方策を明らかにするとともに効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることとし、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、町民に対する説明責任を果たし町民に信頼される教育行政を推進するものです。

平成26年8月

色 麻 町 教 育 委 員 会

関係法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 実施概要

(1) 評価の対象

教育基本方針に基づく教育重点施策や具体的事業実践プラン等の実施状況について点検及び評価を行いました。

(2) 対象期間

平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

(3) 評価の観点

教育基本方針に示す具体的施策等について，成果と課題を明らかにした上で，次に示す5区分により達成度を評価しました。

⑤	大変満足
④	概ね満足
③	普通
②	やや不十分
①	不十分で改善必要

III 結果

(1) 評価等の結果

評 価	⑤ 大変満足	④ 概ね満足	③ 普 通	② やや不十分	① 不十分で改善必要
項目数	5 (2.8%)	139 (77.2%)	32 (17.8%)	4 (2.2%)	0 (0.0%)

(2) 公表の方法

町ホームページに掲載します。

色麻町の教育基本方針

色麻町の恵まれた自然の中で，未来に向けて志を高くし，心身ともに健やかな人間の育成と，潤いと活力に満ちたふるさとづくりを目指して，

- **確かな学びの力と
やさしさやたくましさを培う学校**
- **学びと潤いを大切に
人と人との絆をつなぐ家庭と地域社会**
- **芸術文化の創造と
活力ある生涯スポーツの振興**

を重点に，本町の未来を展望しながら，町民の生涯にわたる学習の充実に努める。

Ⅳ 目次

教育の重点

教育委員会

1	教育委員会運営事業	6
2	事務局運営事業	7
3	奨学事業運営事業	10
4	児童生徒の通学確保に関する事業	10
5	幼稚園児の通園確保に関する事業	11

学校教育

6	創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進	14
7	確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫	19
8	各発達段階に応じた「志教育」の推進	27
9	豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成	29

1 0	学校体育，保健・安全教育，食育指導の充実	3 6
1 1	一人一人の発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進	4 2
1 2	情報活用能力の育成と情報モラルを培う情報教育の推進	4 4
1 3	各教科，道徳，特別活動の時間との関連を図った指導計画の作成	4 6
1 4	教職員の資質向上と福利厚生の実施	5 3
1 5	安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進	5 8

幼稚園教育

1 6	教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営	6 4
1 7	幼児の発達の特性を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善	6 5
1 8	個々の特性に応じた指導の充実	6 7
1 9	発達段階を踏まえた幼・保・小の連携による学びの土台づくり	7 0
2 0	家庭や地域・関係機関との緊密な連携による基本的生活習慣の確立	7 1
2 1	子育て支援と預かり保育の充実	7 2

社会教育

2 2	生涯学習の推進	7 6
2 3	ライフステージに応じた教室，講座等の充実	8 0
2 4	芸術文化活動の振興	8 9
2 5	文化財保護体制の整備充実と活用の推進	9 1
2 6	生涯スポーツの推進	9 3
2 7	図書事業の推進	9 9
2 8	情報技術・視聴覚教育の充実と振興	1 0 1

学識経験者による意見書

意見書	1 0 3
-----	-------

教 育 委 員 会

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	1 教育委員会運営事業
具 体 的 施 策	(1) 教育委員会委員活動の事務執行
主 要 事 業	① 教育委員会の開催
具体的取組計画等 ・毎月1回定例会を開催し、教育長から提案された議案を審議する。また、必要に応じ臨時会を開催し、教育行政の円滑な運営に努める。(教委)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・会議資料の事前配布は議事進行、審議の深まりに効果的であった。(教委) ・提案された議案について慎重に審議を重ね、教育行政の円滑な運営に寄与できた。(教委) ・委員会開催 13回(定例会 12回 臨時会 1回) 議案 28件 協議 3件 報告 2件。(教委)	

教 育 の 重 点	1 教育委員会運営事業
具 体 的 施 策	(1) 教育委員会委員活動の事務執行
主 要 事 業	② 学校訪問
具体的取組計画等 ・各学校を訪問し、教育委員会で定めた教育方針に沿った学校経営や指導計画が実践されているか、校長から説明を受けるとともに、学習指導の状況、教育活動について意見交換を行う。(教委)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・11月に教育委員が各学校を訪問し、教育現場を直に視察しながら、校長や教務主任等からの説明を受け、各学校の学習指導の状況、教育活動の実態、施設整備の現状を把握することができた。(教委)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	2 事務局運営事業
具 体 的 施 策	(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理
主 要 事 業	① 就学に関係すること
具体的取組計画等 ・入学通知, 転校, 区域外就学の手続き。(教委)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・適正かつ遺漏無く執行された。また, 区域外就学については, 保護者の希望を最大限尊重し, 結論を出している。(教委)	

教 育 の 重 点	2 事務局運営事業
具 体 的 施 策	(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理
主 要 事 業	② 教科書, 教材の取扱いに関係すること
具体的取組計画等 ・教科書の無償給付に関する事務。(教委)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・良好に執行されている。(教委)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	2 事務局運営事業
具 体 的 施 策	(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理
主 要 事 業	③ 教育関係職員の研修に関係すること
具体的取組計画等 ・研修の案内及び希望者の取りまとめと申請。(教委)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・宮城県教育研修センター等からの研修案内を小・中学校及び幼稚園に送付し、教職員の指導力向上に努めた。(教委) ・小中一貫校の教育内容充実のため、今後も様々な研修に参加する必要がある。(教委)	

教 育 の 重 点	2 事務局運営事業
具 体 的 施 策	(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理
主 要 事 業	④ 学級編制に関係すること
具体的取組計画等 ・職員の定数及び学級数に関する事務。(教委)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・適正に執行されている。(教委)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	2 事務局運営事業
具 体 的 施 策	(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理
主 要 事 業	⑤ 教育に関する調査, 統計に関係すること
具体的取組計画等 ・学校基本調査及び地方教育調査の実施。(教委)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・適正に執行されている。(教委)	

教 育 の 重 点	2 事務局運営事業
具 体 的 施 策	(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理
主 要 事 業	⑥ 学校施設整備に関すること
具体的取組計画等 ・統合色麻小学校新築工事及び色麻中学校大規模改造工事の国庫負担金等に関する事務。(教委)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・統合色麻小学校新築工事については, 小学校及び中学校との共有面積等を計算し, 9月に実績報告書を提出した。(教委) ・色麻中学校大規模改造工事については, 各交付金該当メニュー毎に計算し, 2月に実績報告書を提出した。(教委)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	3 奨学事業運営事業
具 体 的 施 策	(1) 奨学資金貸付金貸与者選考, 貸付け, 返還及び基金造成
主 要 事 業	① 奨学資金の貸付, 返還に関すること
具体的取組計画等 ・経済的な理由で就学困難な人に対して無利子で奨学資金を貸与する。(教委) 貸与額 高校生 2万円 短大生等 3万円 大学生等 4万円	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・貸付申込者について, 奨学事業運営委員会に諮問をし, 選考を行い, 品行方正にして学業優秀で就学を希望しているにもかかわらず, 経済的理由により, 就学困難な生徒・学生に対し奨学資金の貸付けを行った。(教委) ・貸付満了者については, 計画的な返還がなされている。ただ, 年々未納額が増加傾向にあるので, さらなる計画的な返還及び未納額の減少に努める必要がある。(教委) 貸付者 23人(高校生 2人 短大生等 1人 大学生等 20人) 返還者 87人	

教 育 の 重 点	4 児童生徒の通学確保に関する事業
具 体 的 施 策	(1) 児童生徒送迎事業
主 要 事 業	① 児童送迎事業
具体的取組計画等 ・児童生徒の通学手段として, スクールバスを運行し, 安全且つ確実に送迎を行う。(教委)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・児童生徒の安全を第一に考え, 各停留所を設定し運営した。(教委) ・良好な運営だったが, 今後も諸々の事故防止のために万全を期したい。(教委) 利用者 色麻小学校 130人 41.9% 清水小学校 56人 45.9% 色麻中学校 106人 51.2%	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	5 幼稚園児の通園確保に関する事業
具 体 的 施 策	(1) 園児送迎事業
主 要 事 業	① 園児送迎事業
具体的取組計画等 ・園児の通園手段として、幼稚園バスを運行し、安全且つ確実に送迎を行う。(教委)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・園児の安全を第一に考え、なるべく自宅前での送迎を行った。(教委) ・良好な運営だったが、今後も諸々の事故防止のために万全を期したい。(教委) 利用者 色麻幼稚園 37人 67.3% 清水幼稚園 12人 44.4%	

学 校 教 育

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	6 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具 体 的 施 策	(1) 地域から信頼される着実な学校経営
主 要 事 業	① 教育目標の具現化に向けたよき校風づくりの推進
具体的取組計画等 ・学校評価を実施し評価・改善に努めるとともに、職員一人一人の特性を生かした協働できる校務分掌の配置と組織化を行い、教育目標の具現化を推進する。(色小) ・職員個々の特性を生かした協働できる校務分掌の配置と組織化を行う。職員による学校評価、保護者による学校評価を実施し、結果を広く公表する。また、学校評議員会、学校関係者評価を実施していく。(清小) ・全学年共通の目標を6つ、学年毎の目標2つを年度当初に設定し、生徒や保護者に提示するとともに、数値目標を設定し、年度末にアンケートによる評価を行い、その達成度を把握し、公表する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・学期末に「学校評価」を実施し、次の学期から改善できるものは即実践に移した。特に3学期は色麻学園開校に合わせ、ノーチャイムを取り入れたが、児童らはよく時計を見て早め早めに行動することができていた。また、学年部、生徒指導部など主任を中心に組織で対応する機会が増え、日々の教育活動が充実したものとなった。(色小) ・職員個々の特性を生かした協働できる校務分掌の配置と組織化を行うことができた。また、昨年度以上に、職員による学校評価、保護者による学校評価を実施し、結果を広く公表し、共有化できた。また、学校評議員会、学校関係者評価を実施することができた。(清小) ・生徒対象の授業評価及び学校生活アンケート、保護者対象学校改善アンケート等の結果から、生徒・保護者ともに本校の教育活動に対して、好意的な数値及び声を聞くことができた。特に生徒対象の学校生活アンケートでは、90%を越える生徒が「学校は楽しい」と回答している。(色中)	

教 育 の 重 点	6 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具 体 的 施 策	(1) 地域から信頼される着実な学校経営
主 要 事 業	② 地域とともに歩む開かれた学校づくりの推進
具体的取組計画等 ・学校だよりを地域内に全戸配布したり、地区の区長や民生児童委員、地域の諸機関や代表の人々へ学校行事等への案内を行ったり、地域のボランティアの人々を活用する。(色小) ・「学校だより」の地域内全戸配布を行う。地域の人々に、積極的に学校行事等への案内を行う。地域ボランティアを活用する。(清小) ・「共生」のテーマのもと、1年生から、地域との交流・体験活動等の積み上げを図っていく。(清小) ・職場体験、立志式等の体験学習を実施することで、地域社会の実情を知り、地域へ貢献しようとする態度を培う。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・学校だよりは年16回発行し、行政区長の協力を得て全戸配布することができた。今年度は閉校記念事業が運動会やPTA行事(教養部主催 吹奏楽演奏会)、サマースクール等を実施したので、多くの地域の人に参加してもらった。また、例年の花植えボランティアに加え、除草作業や木工教室、凧づくり等でも地域の人々の協力を得た。(色小) ・「学校だより」の地域内全戸配布を行った。閉校の年ということもあり、地域の人々に、積極的に学校行事(閉校関連の記念行事を含む)等の案内を行った。地域ボランティアも積極的に活用することができた。(清小) ・「共生」のテーマのもと、1年生から、地域との交流・体験活動等の積み上げを図ることができた。(清小) ・町内各施設での職場体験学習や福祉施設での体験学習を通して、地域を知り貢献しようとする態度を育む一助とした。活動後の生徒の感想からも、その意識の高まりが伺えた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	6 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具 体 的 施 策	(1) 地域から信頼される着実な学校経営
主 要 事 業	③ 学校評価システムの構築と計画的評価の実践・活用・改善
具体的取組計画等 ・保護者による学校生活アンケートや学校関係者評価, 学校評議員会を実施し, 学校経営の改善に努める。(色小) ・学校評議員会, 学校関係者評価, 保護者による学校評価, 教職員による学校評価を着実に実施する。結果は, 教育委員会に報告するとともに, 広く公開する。(清小) ・生徒, 保護者等のアンケートから, 学校が改善すべき内容を把握し, その年度及び次年度の教育課程編成に生かす。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・保護者による「学校生活アンケート」を12月に実施し, 前年度との比較もしながら保護者にその結果を示した。特に自由記述については, 丁寧に回答し保護者の理解に努めた。(色小) ・年2回の学校評議員会を開催し, 「学校評価」や「学校生活アンケート」について意見をもらい学校経営の改善に努めた。(色小) ・学校評議員会, 学校関係者評価, 保護者による学校評価, 教職員による学校評価を着実に実施することができた。結果は, 教育委員会に報告するとともに, 広く公開した。(清小) ・これらについては, 新生「色麻小学校」に, できるだけ引き継がれるようにしていきたい。(清小) ・学校評価計画を, 学校教育計画に位置付け, 系統的かつ計画的に学校評価にあたり, その結果をもとに分析・対応を協議する場を設定し学校改善に努めた。また, 結果や改善案については, 学校評議員会, 学校評価委員会, 学校からのたよりやPTA総会で報告した。(色中)	

教 育 の 重 点	6 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具 体 的 施 策	(1) 地域から信頼される着実な学校経営
主 要 事 業	④ 学校評議員制の積極的な活用と学校運営への反映
具体的取組計画等 ・年2回, 学校評議員会を実施し, 評議してもらうとともに学校行事や学習を参観してもらい, 指導・助言を得る。(色小) ・年2回, 学校評議員会を実施する。評議員に学校行事や学習を参観してもらい, 指導・助言を得る。(清小) ・年に3回, 学校関係者評価委員会を実施し, 幅広く指導・助言を得る。(清小) ・年4回の定例会を実施し, 学校と評議員が課題を共有するとともに, 学校への信頼を維持する場とする。また, 学校評議員が学校と地域の橋渡し役となるような関係づくりに努める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・年2回の学校評議員会を実施し, 経営の方針を示したり学校評価に関する意見をもらったり大変有効であった。また, 今年度は, 例年の運動会や学芸会, 各儀式的行事に加え, 閉校記念事業にも評議員に参加してもらい, 多くの指導・助言をもらうことができた。(色小) ・年2回, 学校評議員会を実施した。評議員に学校行事や学習を参観してもらい, 指導・助言を得ることができた。(清小) ・年に3回, 学校関係者評価委員会を実施し, 幅広く指導・助言を得ることができた。閉校に向けて, また, 開校に向けても貴重な意見を伺うことができた。(清小) ・年4回の定例会を実施し, 学校と評議員が学校課題を共有し, 今後の方向性を示唆してもらい, 学校課題の改善につなげることができた。また, 親睦会を実施し学校と評議員との信頼関係構築を図った。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	6 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具 体 的 施 策	(1) 地域から信頼される着実な学校経営
主 要 事 業	⑤ 小中一貫教育を見通した効果的な指導法の試行
具体的取組計画等 ・小小交流、小中連携、教職員の合同研修会や授業参観などを実施し、効果的な指導法を探る。(色小) ・高学年の一部教科(算数、理科、音楽、体育)を専科で指導する。(清小) ・中学校で行う指導法研修会等に積極的に参加する。指導主事学校訪問等、授業公開の場を活用し、参加して小中一貫教育に備えた研修を共に進める。(清小) ・小中間での教員の交流を活発化する。中学校の学力向上サポートプログラム事業に係る授業づくり研修会を企画し、小学校教員へも参加を促し、よりその意識を高める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・5年生の「花山合宿」、6年生の「修学旅行」に加え、全学年で清水小との交流会を実施した。また、合唱コンクールや卒業式への6年生児童の参加、中学校教員による体育や音楽の授業等、小中との連携も深めることができた。(色小) ・色麻学園開校に向けて、教育計画や年間指導計画の作成を小中の教職員が協力して作成した。(色小) ・高学年の一部教科(算数、理科等)を専科・ティームティーチングの体制で指導することができた。また、中学年の算数科にもティームティーチングを取り入れて指導にあたった。(清小) ・中学校で行う指導法研修会等に積極的に参加した(中学校の「学力向上サポートプログラム事業」に全職員で参加するなど)。また、指導主事学校訪問等、授業公開の場を活用し、参加して小中一貫教育に備えた研修を共に進めることができた。本校の指導主事学校訪問にも、積極的に案内をして、町内から出席してもらった。(清小) ・小中教員による授業づくり及び言語活動に関する研修会を実施したことにより、小中一貫教育スタートへ向け大きな成果をあげることができた。また、中学校教員による小学校での交流授業を、保体、音楽で実施し、中学校教育への円滑な接続を図る一助とした。(色中)	

教 育 の 重 点	6 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具 体 的 施 策	(2) 創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
主 要 事 業	① 新学習指導要領に基づいた創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
具体的取組計画等 ・これまでの外部評価や学校関係者評価を加味して教育課程を編成し、学期毎に学校評価を行い、その反省を次に生かしていく。(色小) ・学校評価を計画的に実施し、PDCAサイクルを生かした教育課程の編成を行うとともに、学習指導要領に準拠した教育活動を展開する。(清小) ・小中一貫教育の準備段階として、高学年での中学校教諭による専科の授業等を実施する。(清小) ・年間を3期に分けた時間割を編成し、授業時数増に対応する。また、時期的に週あたりの授業時数を変更するなど、柔軟な教育課程の対応を工夫する。また、諸行事及び出張も含めたことについても精選を図る。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・前年度の年度末評価や外部評価を生かし教育課程を編成し、よりよい教育活動の実施に努めるが、学期毎の学校評価で話し合われた反省で、すぐに実行した方が良いものは次の学期から実践するようにした。(色小) ・学校評価を計画的に実施し、PDCAサイクルを生かした教育課程の編成を行うとともに、学習指導要領に準拠した教育活動を展開することができた。(清小) ・小中一貫教育の準備段階として、高学年での中学校教諭による専科〔体育科、音楽科〕の授業等を実施することができた。(清小) ・学校教育計画に基づき実践するとともに、学期毎に評価を行い、教育課程の工夫・改善を図ることができた。(色中) ※PDCAとは・・・Plan(計画) Do(実行) Check(確認) Action(改善)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	6 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具 体 的 施 策	(2) 創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
主 要 事 業	② 学校間の連携による潤いのある教育活動の推進
具体的取組計画等 ・幼・保・小・中の連携を図り、それぞれ交流授業や交流活動を実施する。(色小) ・幼・保・小連携推進事業を積極的に実施する。中学校の卒業式や行事に6年生を参加させる。(清小) ・両小学校の6年生同士で、交流会を行う。(清小) ・幼稚園・保育所との交流会を行う。小学校に併設されている幼稚園との連携をなお一層深めていく。(清小) ・小中一貫校開校を見据え、小中共通行事等を検討する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・連携活動については幼保と低学年、清水小と全学年、6年生の中学校行事への参加、中学校教員による体育や音楽の授業等、充実した交流活動及授業を行うことができた。(色小) ・幼・保・小連携推進事業を積極的に実施する。中学校の卒業式や行事に6年生を参加させた。(清小) ・両小学校の6年生同士で、交流会を行った。(清小) ・幼稚園・保育所との交流会を行うことができた。幼稚園児による小学校の授業参観、幼小合同行事の設定(「焼いも大会」等)など、小学校に併設されている幼稚園との連携をなお一層深めていくことができた。(清小) ・合唱コンクール及び卒業式の中学校行事への小学6年生の参加は、小中連携に大きく貢献している。また、平成26年度に予定されている小中合同行事の会議や小中一貫教育に係る各種会議等を通して、小中の教師間交流も一層深まっている。(色中)	

教 育 の 重 点	6 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具 体 的 施 策	(2) 創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
主 要 事 業	③ 個に応じた指導計画の作成と改善
具体的取組計画等 ・適応障害や軽度発達障害など、配慮が必要な児童の個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、チームで指導に取り組む。(色小) ・特別支援教育の研修を、なお一層充実させていく。一人一人について実態を把握し、指導の在り方を担任と特別支援委員会等が連携し、通級指導教室の活用などを含め、学校全体で指導体制を整備する。(清小) ・年度当初に職員間で共通理解を図り、具体的な対応について諸会議で協議しながら、指導計画を改善する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・特別支援コーディネーターの計画のもと「あたごの子支援委員会」を開催し、配慮が必要な児童の支援計画を作成し、担任や学年部が連携し、指導にあたることができた。(色小) ・特別支援教育の研修を、なお一層充実させることができた。一人一人について実態を把握し、指導の在り方を担任と特別支援委員会等が連携し、通級指導教室の活用などを含め、学校全体で指導体制を整備することができた。(清小) ・生徒個々に対して、特に配慮を要する心身の事項を年度当初に確認し、普段の指導にあたった。また、特別支援学級に在籍する生徒のみならず個別指導の配慮を要する生徒に対しても、全教員の共通理解を図り指導にあたった。学習支援室システムについても有効活用することができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	6 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具 体 的 施 策	(2) 創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
主 要 事 業	④ 地域の教育力を生かした教育活動と相互連携の推進
具体的取組計画等 ・地域の人材や施設設備を生かした学習活動を展開し、学校支援ボランティアなどの積極的な活用を図る。(色小) ・3年「エゴマをつくろう」、4年「保野川を探索しよう」、5年「米をつくろう」など、総合的な学習の時間を中心として、学校支援ボランティアを活用する。(清小) ・家庭科、生活科、総合(福祉・進路選択)等、なお幅広い分野で、学校支援ボランティアを活用する。また、活用の道を探る。(清小) ・音楽における民謡の講師、保体での柔道の講師として地区民の協力をもらうとともに、花いっぱい運動等で学校支援員を活用する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・地区民の協力を得て3年生では木工教室や凧づくり、6年生では職業人に聞く会、4年生では福祉学習などを行うことができた。(色小) ・3年「エゴマをつくろう」、4年「保野川を探索しよう」、5年「米をつくろう」など、総合的な学習の時間を中心として、学校支援ボランティアを活用することができた。(清小) ・家庭科、生活科、総合(福祉・進路選択)等、なお幅広い分野で、学校支援ボランティアを活用するように努めた。また、活用の道を探ることができた。(清小) ・音楽における民謡の授業、保体での柔道の授業では、地域の人材を活用し、より専門的な知識・技能を生徒に身に付けさせることができた。小中一貫教育がスタートする次年度以降もこうした取り組みを継続したい。また、新たな地域人材の活用についても模索していく。(色中)	

教 育 の 重 点	6 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具 体 的 施 策	(2) 創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
主 要 事 業	⑤ 小中一貫教育を見通した教育課程の編成
具体的取組計画等 ・教育課程を確実に実施し、小中一貫教育を念頭に評価・反省を行い指導計画を作成する。(色小) ・教育課程を確実に実施し、評価・反省に基づいてさらに改善する。(清小) ・小中学校での学習内容の重複やスパイラル構造等について確認し、それらを踏まえた小中一貫教育指導計画を作成する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・年間指導計画のもと教育課程を適切に実施し、評価・反省を行い年間指導計画に朱書きし、よりよい指導計画の作成に努めた。(色小) ・教育課程を確実に実施し、評価・反省に基づいてさらに改善することができた。(清小) ・小中一貫教育で活用する各教科の年間指導計画作成にあたり、小学5年生から中学1年生の3年間について特色を持たせた計画を作成することができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(1) 教職員の研修の充実と教科等の指導力の向上
主 要 事 業	① 今日の教育課題の共通理解と解決に向けた研究主題の設定
具体的取組計画等 ・「確かな学力を身に付け、共に学び合う児童の育成～算数科における言語活動を取り入れた学習指導の工夫を通して～」を研究主題として校内研究の充実を図る。(色小) ・全員が授業研究に取り組む。事前検討会と事後検討会を設定して、学校全体としての授業力向上に努める。(清小) ・「清水システム」の確立とともに、平成26年度からの統合を見据え、「色麻システム」の構築に努める。また、研究主任を中心として、色麻小学校との連携を深めていく。(清小) ・「分かる、楽しい、できる授業づくり」をテーマとして、授業力向上のために校内研究体制を再構築し、研修を活性化する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	⑤ 大変満足
評価及び改善策 ・言語活動に視点を当てた研究主題のもと、低学年部・中学年部・高学年部・特別支援部がそれぞれ授業研究を中心に研究を深めることができた。(色小) ・全員が授業研究に取り組んだ。また、事前検討会と事後検討会を設定して、学校全体としての授業力向上に努めることができた。(清小) ・「清水システム」の確立とともに、平成26年度からの統合を見据え、「色麻システム」の構築に努めることができた。また、研究主任を中心として、色麻小学校との連携を深めることができた。(清小) ・「分かる、楽しい、できる授業づくり、言語活動の充実」を柱とした研究を校内研究の核に据え、実践にあたることができた。また、学力向上サポートプログラムを活用するとともに、研究授業の事前・事後のワークショップ型の検討会を行い研修の充実を図った。(色中)	

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(1) 教職員の研修の充実と教科等の指導力の向上
主 要 事 業	② 研修意欲の高揚に向けた組織づくりと運営の工夫
具体的取組計画等 ・研究主任・研究推進委員会を中心に研修計画を企画・立案し、全校体制で研修に取り組む。また、各種公開研究会への参加を促し研修意欲の高揚を図る。(色小) ・研究推進委員会を設置し、研修計画を立案する。(清小) ・各種公開研究会や研修会に積極的に参加する。指導主事学校訪問の機会を活用して、町内他校・園に案内を出したり、参観させてもらったりして、授業力向上に努める。(清小) ・マンパワーを活用し、それぞれの教科分科会での模擬授業や検討会を行うことで、自己の授業を振り返り、新たな授業観を醸成する。学習内容の定着と、表現力の向上を図る指導法の研究を進める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・研究主任のリードのもと研修に取り組むことができた。また、各種公開研究会へも多くの教員が意欲的に参加した。(色小) ・研究推進委員会を設置し、研修計画を立案することができた。(清小) ・各種公開研究会や研修会に積極的に参加した。指導主事学校訪問の機会を活用して、町内他校・園に案内を出したり、参観させてもらったりして、授業力向上に努めることができた。(清小) ・研修意欲の高揚に向け、計画どおりに実践したことにより、校内に「分かる・できる・楽しい授業」を作ろうとする意識がさらに高まった。また、新たな授業観の醸成、学習内容の定着と表現力の向上を図る指導法を身に付けることができた。マンパワーを活用した研修会には小学校教員の参加もあり、小中の接続を意識した指導方法の研修を深めることができ、小中一貫教育に向け有意義な研修となった。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(1) 教職員の研修の充実と教科等の指導力の向上
主 要 事 業	③ 専門職としての資質と指導力の向上を目指した校内研修体制の整備・充実
具体的取組計画等 ・研究主任・研究推進委員会を中心に校内研究の在り方や方針を検討する。また、職員の希望・考えを取り入れた現職教育研修を推進する。(色小) ・校内研修日を金曜日に設定し、学年部会を中心に教材研究や実技研修などをより一層充実させていく。(清小) ・校内研修をより活性化するとともに、外部からの講師を招聘し、教育界の流行を確認しながら、教師の指導力を高めていく。また、教師力の向上に努め、分かる授業の提供及びそれに伴う学習内容の定着と、表現力の向上を図る指導法の研究を進める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・研究主任や研究推進委員会が中心となり、校内研究の方向や方針を示したので、適切な研修となった。また、6月下旬に加美消防署の協力を得て救急救命法の講習を全職員で行った。(色小) ・校内研修日を計画的に設定し、学年部会を中心に教材研究や実技研修などをより一層充実させていくことができた。(清小) ・校内研修の充実を図るとともに、その質を向上させることができた。また、教員の教材研究に対する意識が高まり、学校全体でよりよい授業づくりの実践が行われた。さらなる教師の授業力向上のため、授業研究会等を通して、今後もなお一層研修の充実を図り、学力向上に努める。(色中)	

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(1) 教職員の研修の充実と教科等の指導力の向上
主 要 事 業	④ 学習意欲向上のための研究の推進
具体的取組計画等 ・毎週水曜日に研修日を設け、教職員の研修の充実を図る。また、小小間、小中間の学習参観を行ったり、各公開研究会への参加を通し指導力の向上に努める。(色小) ・小学校・小学校間、小学校・中学校間の学習参観を積極的に行う。各種公開研究会や研修会に、積極的に参加する。研修内容は、積極的に伝達講習を行い、情報の共有に努める。(清小) ・生徒の学習習慣の確立・定着を図ることと教師の働きかけは表裏一体の関係にあることを意識しながら、月一回の研修日を活用し、研修会での伝講や同じテーマに基づいた協議を行い、その方策についてその都度確認する機会を設ける。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・研修日を活用し、学年部が中心となり教材研究や教材開発、また授業内容の検討など、それぞれ研修を深め、指導力向上に努めた。(色小) ・小学校・小学校間、小学校・中学校間の学習参観を積極的に行うことができた。各種公開研究会や研修会に、積極的に参加することができた。研修内容は、しっかりと伝達講習を行い、情報の共有に努めた。(清小) ・文科省、県教育委員会等の通達について、職員間に周知徹底を図りながら、日々の授業実践にあたった。また、毎月の研修日にはもちろんのこと、日々の実践について、教科担当教員の話し合いを持ち学習意欲向上のための指導方法等について検討を加え実践した。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主 要 事 業	① 発達段階に応じた課題設定と評価を踏まえた指導計画の作成
具体的取組計画等 ・各教科・領域の指導計画を常に見直し、朱筆を入れながら次年度の指導計画改善に活用する。(色小) ・指導計画を常に見直し、朱筆を入れながら次年度の指導計画改善に活用する。特に、平成26年度からの統合を見据え、町内プロジェクトで作成している「年間指導計画」に反映させていく。(清小) ・生徒のレディネスの把握に努め、形成的評価を重視しながら、学年の発達段階に応じ、板書の時間を保障するなどの指導にあたる。また、漢字マラソン、振り返り学習等、課外での学習指導を行い、生徒の学力向上に努める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・各教科・領域の指導計画のもと教育活動を実施し、適宜評価・反省を行い朱書きして改善に努めた。(色小) ・指導計画を常に見直し、朱筆を入れながら次年度の指導計画改善に活用することができた。特に、平成26年度からの統合を見据え、町内プロジェクトで作成している「年間指導計画」に反映させていくように努めた。(清小) ・生徒の実態把握に努め、形成的評価の重視及び学年の発達段階に応じた指導を行った。年5回の漢字マラソン(定期的なテスト)や課外での振り返り学習についても確実に実施できた。その成果として、各アンケートや学力テストから、生徒の学習意欲の高まりと基礎学力の定着が図られてきていると捉えられる。(色中)	

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主 要 事 業	② 分かる授業づくりや自ら学ぶ意欲の喚起と体験的・課題解決的な学習の充実
具体的取組計画等 ・基礎基本的な学習内容の指導を徹底するとともに、体験的・課題解決的な学習の実践を行い、学ぶ意欲を高める。(色小) ・基礎的・基本的な内容の指導の徹底を図る。(清小) ・学習した内容を発展させ、活用させる力の育成に努める。体験的・課題解決的な学習を多く取り入れ、児童の思考力を高めるようにする。(清小) ・各教科において、「学ぶことと生活の関連」を意識させるとともに、「なぜ学ぶのか」を常に問いかけながら、生徒個々に学ぶ意義を涵養する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・各学年発達段階に応じ、読み書き計算や説明の仕方の基本的な事項の定着に努めた。また、校外学習やゲストティーチャーを招いた授業の機会を計画的に持ち、学習意欲の向上に努めた。(色小) ・基礎的・基本的な内容の指導の徹底を図ることができた。(清小) ・学習した内容を発展させ、活用させる力の育成に努めた。また、体験的・課題解決的な学習を多く取り入れ、児童の思考力を高めるように努めた。(清小) ・本時の学習のねらいを明確にした授業、言語活動や課題解決の手法を取り入れた授業を行い、学びに共通しを立たせた指導過程の工夫、発問の工夫、生徒間の話し合い活動の充実等、興味・意欲を喚起する授業を実践した。また、技能教科では学習内容と生活とを関連させるよう指導した。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主 要 事 業	③ 少人数・習熟度別指導等効果的な指導形態による個を生かす指導の充実
具体的取組計画等 ・中学年の算数科でTT指導や少人数指導を行う。また、高学年で一部教科担任制を導入し個を生かす指導の充実に努める。(色小) ・5・6年生で、一部教科担任制を導入する。また、7年部を活用した少人数指導や、通級指導等を充実させていく。(清小) ・数学・英語で全学年・全時間の少人数指導(等質集団・習熟度集団)及びTT指導を行い、きめ細やかでかつ個に応じた指導にあたるよう努める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・算数科の少人数、TT指導については3年生、4年生、5年生の一部で年間を通し実施することができた。また、5・6年生の理科と音楽は教科担任制を実施して指導の充実に努めた。(色小) ・5・6年生で、一部教科担任制を導入した。また、7年部を活用した少人数指導として、5年生算数科のチームティーチングを行ったり、3年生でも算数科においてチームティーチングを実施することができた。(清小) ・数学、英語については、全学年でTTを行った。3年英語では、習熟度別少人数指導も取り入れた。今後も、等質集団あるいは、習熟度別少人数の効果について検証しながら、本校生徒の実態に合ったよりよい指導形態を工夫する。(色中) ※TT(チームティーチング)とは・・・複数の教師が協力して授業を行う指導方法。	

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主 要 事 業	④ 評価の観点及び評価規準の設定と活用及び指導と評価の一体化
具体的取組計画等 ・各教科の評価の観点や評価規準を設定し、指導と評価を意識した学習活動を行う。(色小) ・教科ごとに評価の観点や評価規準を設定して、指導と評価を意識した授業作りをなお一層充実させていく。(清小) ・絶対評価の理念を常に確認しながら、評価とは教師の指導の結果であることを共通理解し、その評価として、評定1を無くすような教科指導を行う。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・各教科の評価の観点や評価基準を設定し、指導と評価の一体化を目指し授業作りを行った。(色小) ・教科ごとに評価の観点や評価規準を設定して、指導と評価を意識した授業作りをなお一層充実させていくことができた。(清小) ・絶対評価の理念を常に確認しながら、共通理解のもと評価を行った。また、評価は教師の授業作りの結果であることをより意識し、指導と評価を連動させた教育活動が実践できた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主 要 事 業	⑤ 各教科等の関連を図った横断的・総合的な学習の充実
具体的取組計画等 ・総合的な学習は「ふるさと色麻」をテーマに各学年地域学習素材を中心に、各教科等との関連を図りながら指導を行う。(色小) ・各教科単独でなく、関連を図りながら、横断的・総合的に学習を深められるようにする。そのための理論を学んだり、実践研究を進めていく。(清小) ・学習指導要領における、各教科間での学習内容の関連性を系統化した年間指導計画を作成する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・各学年の計画に沿って、「色麻の良い所発見」「史跡巡り」など、各教科との関連を図りながら指導の充実に努めた。(色小) ・各教科単独でなく、関連を図りながら、横断的・総合的に学習を深められるようにした。そのための理論を学んだり、実践研究を進めていくことができた。(清小) ・各教科間での学習内容の関連性を系統化した年間指導計画を作成し、指導にあたった。(色中)	

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主 要 事 業	⑥ 小・中連携による補充・発展的な学習の工夫及び小学校高学年における一部教科担任制の試行的実施と改善
具体的取組計画等 ・小中間の学習参観、高学年における中学校教員による授業や一部教科において専科指導を実施する。(色小) ・小学校・中学校間の学習参観の実施に努める。(清小) ・高学年における専科指導の実施や、実技教科主任による全校指導体制を継続する。(清小) ・中学校教員による、小学校でのより専門性を生かした音楽や保体の授業を実施する。今後は、小学校教員が中学校で、どのような支援ができるかを検討し実践ベースに移す。また、教育課程特例校申請により、小学校での中学校教員の英語授業の在り方について検討する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・中学校教員による体育と音楽を6年生で実施したり、5, 6年生では理科と音楽を教科担任がそれぞれ授業を行った。(色小) ・小学校・中学校間の学習参観の実施に努めることができた。(清小) ・高学年における専科指導の実施や、実技教科主任による全校指導体制を継続することができた。(清小) ・中学校教員の専門性を生かした授業として、色麻小・清水小にて音楽と保体の授業を実施した。今後は、小学校での中学校教員の英語授業の在り方について検討する。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	⑦ 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主 要 事 業	⑦ 標準的な学力検査の実施と結果の分析・活用
具体的取組計画等 ・標準学力検査の結果を分析し、実態に応じた指導を工夫する。(色小) ・標準学力検査を実施し、結果を分析する。色麻学園への引き継ぎを確実に進める。(清小) ・標準学力検査結果から各学年の経年変化を確認し、生徒個々の達成度・到達度を把握し、個に応じた指導に生かすとともに教師の授業力の変容についても確認する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・4年生から6年生の四教科で実施した標準学力検査の結果を分析し、それぞれ実態に応じた指導に役立てることができた。(色小) ・標準学力検査を実施し、結果を分析した。色麻学園への引き継ぎを確実に進めた。(清小) ・4月に実施した標準学力検査の結果について、各学年の経年変化や特徴、生徒個々の達成度・到達度を分析・把握し、1年間の教科指導に役立てることができた。また、この取り組みを通し、教師の授業力も向上していると捉えられる。(色中)	

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(3) 児童・生徒の家庭学習の習慣形成
主 要 事 業	① 家庭と連携した生活リズムの見直しと改善
具体的取組計画等 ・連絡帳や各たよりを通じ生活リズムの確立の啓蒙に努めるとともに、懇談会やPTC等でも啓発を図る。(色小) ・学年の発達段階に応じて、予習→授業→復習のサイクルを習慣化させて、家庭学習の習慣を形成する。(清小) ・全校統一した「家庭学習の手引き」の活用、また「音読カード」を拡大発展させた「かさまつっ子カード」を活用し、生活リズムの確立を土台とした学習習慣の形成に努めていく。(清小) ・生活リズムの向上と学力の関係等を各種たより及び各学年行事で講演会を実施する。また、その経年変化をアンケートから把握し、保護者・生徒への説明を通して啓発を図る。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・連絡帳や学年・学級だよりを通じ生活リズムの確立を促すとともに、学年・学級懇談会、PTC・PTA行事など折に触れて家庭の協力の声掛けを行った。(色小) ・学年の発達段階に応じて、予習→授業→復習のサイクルを習慣化させて、家庭学習の習慣を形成することができた。(清小) ・全校統一した「家庭学習の手引き」の活用、また「音読カード」を拡大発展させた「かさまつっ子カード」を活用し、生活リズムの確立を土台とした学習習慣の形成に努めることができた。(清小) ・生活リズムの向上と学力の関係等を各種たより及び各学年行事を通しその重要性を伝えた。また、その経年変化をアンケートから把握し、保護者・生徒への説明を通して啓発を図ることができた。家庭学習によく取り組んでいると捉えている保護者の割合は年々増加してきている。(色中) ※PTCとは・・・Parents(保護者) Teachers(教師) Children(児童)の略で、保護者と児童、先生と一緒に教育活動を行うこと。	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(3) 児童・生徒の家庭学習の習慣形成
主 要 事 業	② 児童・生徒の発達段階に応じた学習課題の与え方の工夫
具体的取組計画等 ・「家庭学習の約束」「家庭学習の手引き」「国語・算数シラバス」が活用できるように、宿題や課題の与え方を工夫する。(色小) ・「家庭学習の約束」「家庭学習の手引き」を配布し、活用を図る。4月の「PTA全体会」で、保護者を対象にして、家庭学習の意義と重要性を説明し、協力を仰ぐ。(清小) ・学年の発達段階に応じて、日常の授業の中で、課題設定を習慣化させ、学習課題の与え方を授業研究会の中に盛り込み研修する。(清小) ・把握した実態に即し、学習課題の内容の質と量を検討し、教師間の共通理解を図り、実践するためにシラバスを改善する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・年度当初に「家庭学習の約束」「家庭学習の手引き」「国語・算数のシラバス」を配布し、学年・学級懇談会等でも活用を呼びかけた。また、宿題や自主学習への取り組みに工夫するよう、学年に応じた指導を行った。(色小) ・「家庭学習の約束」「家庭学習の手引き」を配布し、活用を図ることができた。4月の「PTA全体会」で、保護者を対象にして、家庭学習の意義と重要性を説明し、協力を仰ぐことができた。(清小) ・学年の発達段階に応じて、日常の授業の中で、課題設定を習慣化させ、学習課題の与え方を授業研究会の中に盛り込み研修を進めることができた。(清小) ・家庭学習の習慣確立のため、全教科で連携を図りながら、宿題の励行に努めた。今後も、学年に応じた課題の量やその負荷を見極めながら取り組みを継続していく。また、今年度の成果をシラバスに反映させる。(色中) ※シラバスとは・・・学年あるいは学期中の授業の計画や内容の概略を各時限ごとに記したもの。	

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(3) 児童・生徒の家庭学習の習慣形成
主 要 事 業	③ 自主的な家庭学習習慣の形成に向けた働きかけの工夫
具体的取組計画等 ・本読みカードや自主学習ノートなどを活用したり、授業に関連のある宿題を与えたり家庭学習の習慣化を図る。(色小) ・「本読みカード」の発展形である「かさまつっ子カード」や自主学習ノートを作成し、家庭の協力を得ながら、子どもたちの自主的な家庭学習の習慣を身に付けさせる。(清小) ・教科間での連携による、予習・授業・復習といった学習サイクル確立を図る。毎日宿題を与えることや、学ぶ意義を徹底し、家庭学習習慣を確かなものにする。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・各学年の発達段階に応じ本読みカードや宿題の与え方を工夫し、家庭学習の習慣化に努めた。特に中低学年は協力的な家庭が多いが、上学年程子ども任せの傾向が大きい。(色小) ・「本読みカード」の発展形である「かさまつっ子カード」や自主学習ノートを作成し、家庭の協力を得ながら、子どもたちの自主的な家庭学習の習慣を身に付けさせることができた。(清小) ・発達段階や生徒の実態に応じた課題(宿題)を与えることや、学ぶ意義を理解させることを通し、家庭学習に取り組む生徒が増え定着が図られてきた。今後も、予習・授業・復習といった学習サイクル確立を図る指導をより充実させ、一層学ぶ意欲を喚起する。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(4) 教育環境の整備と有効活用
主 要 事 業	① コンピュータ、視聴覚機器等の活用の工夫
具体的取組計画等 ・各教科・領域でコンピュータや視聴覚機器を活用した効果的な学習指導を計画的に行う。(色小) ・総合的な学習の時間で、まとめを工夫させる中で、「コンピュータリテラシー」の定着を図る。各教科・領域で視聴覚機器を活用した効果的な学習指導を行う。(清小) ・最新の情報機器についての研修会を定期的実施し、効果的な指導法を共有しながら積極的な活用を図る。(清小) ・視聴覚教材を活用し、視覚に訴える授業づくりを工夫する。また、デジタル教科書を活用する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・コンピュータを使った学習は学年の計画でそれぞれ取り組んだ。大型テレビや教材提示装置を多くの授業で活用した。(色小) ・総合的な学習の時間で、まとめを工夫させる中で、「コンピュータリテラシー」の定着を図った。各教科・領域で視聴覚機器を活用した効果的な学習指導を行うことができた。(清小) ・最新の情報機器についての研修会を定期的実施し、効果的な指導法を共有しながら積極的な活用を図ることができた。(清小) ・視聴覚機器を活用した授業に取り組む教員が増えた。また、その効果を引き出す工夫した授業づくりに努めた。(色中) ※コンピュータリテラシーとは・・・コンピュータを操作して、必要な情報を得ることができる知識と能力のこと。	

教 育 の 重 点	7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具 体 的 施 策	(4) 教育環境の整備と有効活用
主 要 事 業	② 学校支援ボランティア等地域人材の活用
具体的取組計画等 ・町探検や史跡見学、植栽活動において学校支援ボランティアを活用する。また、学校医や色麻風の会、アグリカッパなど地区民の協力も得て学習を充実させる。(色小) ・凧作り(凧の会)、エゴマや稲の栽培活動、薬物乱用防止(加美警察署)、福祉体験(福祉センター)、裁縫やミシン、その他、多くの場面で学校支援ボランティアを活用する。(清小) ・校医による「健康教室」、大学講師による「食の講話」、地域の人材を活用した「進路指導(6年)」、保護者や地域の人材を活用した「性教育・保健指導」等々、人とのかかわりを生かした指導を継続する。(清小) ・技術科や家庭科でのミシンの実習等で、学校支援ボランティアを活用する。また、部活動等(テニス・バスケットボール・陸上・吹奏楽)での外部講師活用を継続する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・公民館の協力を得て町探検や史跡巡り、栽培活動で学校支援ボランティアを活用することができた。また、木工組合、凧の会、アグリカッパ、美土里ネットなど地域から多くの協力をもらった。(色小) ・凧作り(凧の会)、エゴマや稲の栽培活動、薬物乱用防止(加美警察署)、福祉体験(福祉センター)、裁縫やミシン、その他、多くの場面で学校支援ボランティアを活用することができた。まさに「地域の中にある学校」、「地域に支えられた学校」という認識を改めて強く持つことができた。(清小) ・校医による「健康教室」、大学講師による「食の講話」、地域の人材を活用した「進路指導(6年)」、保護者や地域の人材を活用した「性教育・保健指導」等、人とのかかわりを生かした指導を継続することができた。(清小) ・民謡(音楽)や柔道(体育)の授業をはじめ、部活動で外部講師による専門的な指導を受けることができており、今後も、こうした取り組みを継続していく。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	8 各発達段階に応じた「志教育」の推進
具 体 的 施 策	(1) 発達段階に応じた「志教育」の推進
主 要 事 業	① 自他のよさに気付かせ個性を伸ばす指導の工夫
具体的取組計画等 ・生活や総合などの時間に体験的な学習を計画し、他者との関わりを通して自己有用感を育てる。(色小) ・体験活動を通して自己有用感を育成する。(清小) ・体験的な活動を重視し、各学年で実施する。1年生の福祉体験学習,2年生の職業体験学習,3年生の保育体験等の活動のねらいを精査し、系統だった活動計画を作成する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・校外学習やゲストティーチャーによる授業を通し、発達段階に応じた個性を伸ばす指導を行った。(色小) ・体験活動を通して自己有用感を育成することができた。(清小) ・1年生の平泉校外学習,2年生の職場体験学習,3年の保育実習等を実施し、ねらいを十分に達成することができた。来年度も同様に実施する予定である。また、学校生活全体において、自己肯定感を高める声かけを行い、目標に向かって努力し続ける意義についての指導を継続的に行った。(色中) ※志(こころざし)教育とは・・・小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会とかかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育。	

教 育 の 重 点	8 各発達段階に応じた「志教育」の推進
具 体 的 施 策	(1) 発達段階に応じた「志教育」の推進
主 要 事 業	② 将来への夢や希望を持ち実現を目指す姿勢の育成
具体的取組計画等 ・各教科・領域において、将来の夢や職業、生活の様子について学習する時間を計画的に設定する。(色小) ・将来の自分の生活や職業について、学習や体験活動を通して考えさせる。(清小) ・職業体験学習等体験的な学習や立志式(2年)を通して、将来について考える機会とする。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・学年の実態に応じ、夢のある将来の職業や生活について学習する時間を設定した。(色小) ・将来の自分の生活や職業について、学習や体験活動を通して考えさせることができた。(清小) ・生徒個々に将来に夢や希望を持たせるために、学級活動での指導や体験学習を重視し、実践した。立志式では、2年生生徒全員が将来の自分の姿を思い描き、自己研鑽に努めようとする姿勢が伺えた。今後も、宮城県の志教育をベースに、日々指導に努める。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	8 各発達段階に応じた「志教育」の推進
具 体 的 施 策	(1) 発達段階に応じた「志教育」の推進
主 要 事 業	③ 小・中・高等学校や家庭・地域社会との連携によるキャリア教育の推進
具体的取組計画等 ・消防署や清掃工場、自動車工場などの見学や身近な大人の職業人の話を聞き、働くことの意義を学ぶ。(色小) ・「総合的な学習の時間」等で、地域の学校支援ボランティアの働く姿や体験活動を通して、働くことの意義を感じさせていく。(清小) ・上級学校や就職先に関する資料の収集と整理と活用にも努める。また、高校の教師による講演会や本校卒業生から話を聞く会等を実施する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・町内の施設や町外の消防署、清掃工場、自動車工場などの見学や体験活動を通し、働くことの意義を学ぶ多くの機会を持った。(色小) ・「総合的な学習の時間」等で、地域の学校支援ボランティアの働く姿や体験活動を通して、働くことの意義を感じさせることができた。(清小) ・生徒及び保護者に対して、進路に関する適切かつ最新の情報提供に努めた。3年生では、学年行事として、高校3年生を講師に迎え「先輩の話を聞く会」を、また保護者を対象に県教育委員会の「高校入試制度説明会」を実施した。修学旅行において上級学校や事業所等の訪問も行った。(色中)	

教 育 の 重 点	8 各発達段階に応じた「志教育」の推進
具 体 的 施 策	(1) 発達段階に応じた「志教育」の推進
主 要 事 業	④ 働く喜びや勤労の尊さを経験させる啓発的体験活動の実施
具体的取組計画等 ・学級の係活動や清掃活動、家庭での手伝いを通して、自分の役割や責任を果たす喜びを体験させる。(色小) ・1年「鮎の放流」、2年「サツマイモ栽培」、3年「エゴマ栽培」、4年「サツマイモやヘチマの栽培」、5年「もち米の栽培」、6年「職場体験」を実施し、学校支援ボランティアの活用を図る。(清小) ・日々の清掃活動や学期末の大掃除(愛校作業)を通して、働く喜びや勤労の尊さを経験させる機会とする。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・各学年・学級で工夫した係り活動や清掃活動、縦割り活動、働く喜びを体験させる機会を持った。また、家庭での手伝いを奨励し働く意義が高まるよう啓蒙に努めた。(色小) ・1年「鮎の放流」、2年「サツマイモ栽培」、3年「エゴマ栽培」、4年「サツマイモやヘチマの栽培」、5年「もち米の栽培」、6年「職場体験」を実施し、学校支援ボランティアの活用を図ることができた。(清小) ・各学年での体験学習や愛校作業(学期に一度の校内美化活動)及び日々の清掃活動に熱心に取り組んでおり、今後もこうした実践を継続していく。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(1) 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進
主 要 事 業	① 全教育活動を通した道德的価値観の高揚と実践力の育成
具体的取組計画等 ・道德教育推進教諭を中心とした研修の実施や授業改善を図り、全校体制で取り組む。(色小) ・本校で取り組んでいる「あいさつ運動」を中心にして、思いやりの心を育てる教育活動をより一層推進していく。(清小) ・全校で「言葉づかい」について振り返る場を設定する。(清小) ・道德教育推進教諭を中心に道德の授業のさらなる充実に努める。また、日々の教育活動が道德心を培う場であることを共通理解し、指導にあたる。年度末には、その年に善行のあった生徒を表彰しており、今後も継続していく。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・道德教育推進教諭のリードのもと副読本や視聴覚教材の整備を行い、よりよい授業を目指し、どの学年・学級も計画的に道德の実践力の向上に努めた。(色小) ・本校で取り組んでいる「あいさつ運動」を中心にして、思いやりの心を育てる教育活動をより一層推進することができた。(清小) ・全校で「言葉づかい」について振り返る場を設定した。(清小) ・道德教育推進教諭を中心に道德の授業のさらなる充実に努めた。また、日々の教育活動が道德心を培う場であることを共通理解し道德心の育成にあたっている。年度末には、その年に善行を行った生徒を表彰し、善行を奨励しており、今後も継続していく。(色中)	

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(1) 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進
主 要 事 業	② 道德的価値観の内面化を図る指導の工夫と充実
具体的取組計画等 ・児童が共感したり考えの違いを理解したりする心に響く指導を通し、道德的価値観の内面化を図る。(色小) ・日常的に道德の授業を互いに参観し合うことで、道德指導に関する研修を深める。(清小) ・道德ノートの活用の仕方について、なお一層の研修を図る。(清小) ・道德の時間の指導に重点をおきながら、資料の発掘と資料の持つ価値分析に努め指導にあたる。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・価値に沿った題材を精選し、実態に応じた指導に努め、児童の心に響く授業実践に努めた。(色小) ・日常的に道德の授業を互いに参観し合うことで、道德指導に関する研修を深めることができた。(清小) ・道德ノートの活用の仕方について、なお一層の研修を図ることができた。(清小) ・資料の価値分析を通し、一単位の授業においてどの価値に重点を置いて指導するかを徹底した。また、朝会、生徒集会においても、道德的価値観を育む内容を取り入れた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(1) 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進
主 要 事 業	③ 命を大切にする心や道德的実践力を養う体験的な活動の充実
具体的取組計画等 ・各教科・領域や学校行事との関連を図り、体験活動やボランティア活動を通し道德的実践力を養う。(色小) ・各教科での指導や学校行事など、すべての教育活動において道德的価値の関連性を図り、深めていく。(清小) ・道德の授業づくりについて研修を充実する。(清小) ・道德の時間で生命の尊重に関する資料を扱うことはもちろん、3年生では、講師を招聘し、生命の授業を行い道德的実践力を高める活動を行う。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・異年齢集団で活動する縦割り活動や運動会、あたご祭りなどの学校行事、校外学習での体験活動を通し、道德的実践力の向上に努めた。(色小) ・各教科での指導や学校行事など、すべての教育活動において道德的価値の関連性を図り、深めていくように計画し、実践することができた。(清小) ・道德の授業づくりについて研修を充実させることができた。(清小) ・道德の時間で生命の尊重に関する資料を扱うことはもちろん、3年生では、講師を招聘し、生命の授業(年3回)を行い道德的実践力を高める活動を行った。今後も継続していく。(色中)	

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(1) 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進
主 要 事 業	④ 家庭や地域社会との連携による道德教育の充実
具体的取組計画等 ・学習参観や学級懇談会でよりよい児童の姿を求めて話し合いを深めたり、伝承館の見学や福祉施設との交流を行ったりし、道德教育の充実に努める。(色小) ・道德の時間での活用方法について共通理解を図る。(清小) ・家庭への啓発を図り、連携して活用できるようにする。学習参観では、どの学年も、年間に必ず1回は「道德」の授業を公開する。(清小) ・学校、学年、学級だより及び校長室だよりを通して、道德教育について保護者及び地域の人々の意識啓発に努める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・3年生、4年生で町内の福祉施設の訪問、見学を行い交流を行った。また、閉校の関係で2学期実施できなかった学年学級懇談を3学期には特設し、保護者との話し合いを深めた。(色小) ・道德の時間での活用方法について共通理解を図った。(清小) ・家庭への啓発を図り、連携して活用できるように努めた。学習参観では、どの学年も、年間に必ず1回は「道德」の授業を公開することができた。7月の学習参観において、全校一斉に道德の授業を行った。(清小) ・学校、学年、学級だより及び校長室だよりを通して、保護者の意識啓発に努めた。学校評議員、地域の人々から、色中生は、「あいさつがすばらしい」という声をはじめ、普段の生活態度に賞賛の言葉をもらうことができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(1) 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進
主 要 事 業	⑤ 人権教育との関連を図り一人一人が大切にされる人間関係の醸成
具体的取組計画等 ・人権擁護委員協議会の協力を得て、人権に関する道德の授業参観や話を聞く機会を計画する。(色小) ・人権養護委員の道德授業参観と話をしてもらう。「人権啓発ポスター」に、高学年が応募していく。(清小) ・縦割りグループごとに「あいさつ運動」を担当させて、どの子ども思いやりの心を育てるようにする。(清小) ・他を思いやる「言葉づかい」を意識させ、人とのかかわる力を身に付けるようにする。(清小) ・生徒会からの呼びかけによる、いじめ根絶宣言を生徒全員が表明し、それを文章化し年間を通して掲示することで自浄能力により、人権意識を高める一助とする。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・1年生2学級で実施した人権に関する道德の授業を、人権擁護委員に参観してもらい、その後、話を聞くことができた。(色小) ・人権養護委員の道德授業参観と話をしてもらった。「人権啓発ポスター」に、高学年をはじめ、多くの児童が応募することができた。(清小) ・縦割りグループごとに「あいさつ運動」を担当させて、どの子ども思いやりの心を育てるようにした。(清小) ・他を思いやる「言葉づかい」を意識させ、人とのかかわる力を身に付けるようにした。(清小) ・学校、学年、学級だよりを通して、保護者の意識啓発に努めた。また、学期毎のいじめに関するアンケートを行い、常に実態を把握した。また、生徒会が主体となり「いじめ根絶宣言」を行うことにより、生徒間の自浄能力がより高まった。(色中)	

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の展開
主 要 事 業	① 児童・生徒理解を基本に据えた積極的な生徒指導の展開
具体的取組計画等 ・基本的な生活習慣やあいさつ、正しい言葉遣い・廊下歩行など、学級活動と関連づけて指導するとともに、情報交換を密にし実態把握や共通理解を図り児童の規範意識を高める。(色小) ・「すべての児童を、すべての教職員で見て育てる」ことを、今年度も大前提として、「かさまつっ子」の育成にあたる。(清小) ・常に情報交換に努め、実態把握を的確に行うとともに、共通理解・共通行動が取れるようにする。(清小) ・生徒指導研修会、特別支援委員会を定期的に開催する。すべての児童に還元されるように研修を充実させていく。(清小) ・職員同士で職員会議や打ち合わせ等、あらゆる機会を捉えて指導に関する共通理解を図る。また、生徒の心の変化等を把握するために、月例で悩み事やいじめについての調査を行う。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・月ごとに生活目標を設定し年間を通じ基本的な生活習慣やあいさつ等の指導を行い、校内では概ね良好である。さらに継続的な指導を行い高めていく必要がある。(色小) ・「すべての児童を、すべての教職員で見て育てる」ことを、今年度も大前提として、「かさまつっ子」の育成にあたることができた。(清小) ・常に情報交換に努め、実態把握を的確に行うとともに、共通理解・共通行動が取れるようにした。(清小) ・生徒指導研修会、特別支援委員会を定期的に開催する。すべての児童に還元されるように研修を充実させることができた。(清小) ・授業や学級づくりに関するアンケートをはじめ、チャンス相談や日々の声がけを通して生徒との信頼関係構築に努めた。また、問題行動のみならず日々の生徒の様子について教師間で情報を交換している。保護者によるあいさつ運動を定期的に実施することもできており、今後も継続していく。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の展開
主 要 事 業	② いじめや不登校の未然防止及び早期発見・対応を目指した取組の充実
具体的取組計画等 ・いじめアンケートの実施や日常の観察などを通し、いじめや不登校の早期発見・未然防止に努める。(色小) ・毎月1回「いじめに関するアンケート」を実施し、いじめの実態把握に努める。仮にいじめが起こった場合でも、早期発見・早期対応に、全校体制で努めていく。(清小) ・いじめに関するアンケートを生徒対象に行い、現状を把握し早期発見に努める。また、不登校解消のために外部機関との連携を強める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・日常の観察やいじめアンケートからの得た僅かな兆候も見逃さず、問題が肥大化する前に関係職員でケース会議を開き、早期解決に努めた。(色小) ・毎月1回「いじめに関するアンケート」を実施し、いじめの実態把握に努める。仮にいじめが起こった場合でも、早期発見・早期対応に、全校体制で努めることができた。不登校児童は「0」であり、いじめも軽微なものが数件で、早期対応ができたために、短期間で解決することができた。(清小) ・いじめアンケート及び教師の生徒観察により、いじめの未然防止及び早期発見に努め、対応することができた。また、不登校についても保護者やスクールカウンセラーと連携を図り、未然防止にあたっている。(色中)	

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の展開
主 要 事 業	③ 家庭や地域社会、関係機関との緊密な連携による生徒指導の充実
具体的取組計画等 ・ウォーキングパトロール隊や民生児童委員との情報交換会を実施したり、学校だより「キドッコ」を学区内の全戸に配布したり、地区内の学校理解と連携を深める。(色小) ・学期ごとに「かさまつっ子を語る会」(学校関係者評価)を開催し、児童理解と情報の共有の場を設置する。それぞれの立場から発言を求め、充実した情報交換を進める。(メンバー:PTA, 民生委員や保健師, スポーツ少年団の会長, しかまつっ担当者等と教職員)。また、学校評議員会は、年に2回実施する。(清小) ・保護者対象のアンケートの実施や年3回学期末の「生徒指導等問題対策会議」を開催して関係機関、保護者代表、民生児童委員、保護司に参加してもらい、対応について協議する場を設け、適切な助言を得て、指導に役立てる。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・ウォーキングパトロール隊や民生児童委員との情報交換会は大変有意義であった。また、行政区長の協力のもと「学校だより」も全戸配布し地域への情報発信に努めた。(色小) ・学期ごとに「かさまつっ子を語る会」(学校関係者評価)を開催し、児童理解と情報の共有の場を設置することができた。それぞれの立場から発言をもらい、充実した情報交換を進めた。(メンバー:PTA, 民生委員や保健師, スポーツ少年団の会長, しかまつっ担当者等と教職員)また、学校評議員会は、年に2回実施した。(清小) ・保護者対象のアンケートの実施や学期末に「いじめ・生徒指導等問題対策会議」を開催し、関係機関、保護者代表、民生児童委員に参加してもらい、対応について協議する場を設けている。その都度、適切な助言をもらい、指導に役立てることができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の展開
主 要 事 業	④ 個々の存在感を高め、正義感を持って生きる自己指導能力の育成
具体的取組計画等 ・各教科・領域や学校行事において、一人一人が自己の役割を果たしたり協力してやり遂げたりする体験活動を通して、自己指導力の育成に努める。(色小) ・基本的な生活習慣や廊下歩行・正しい言葉づかいなどを学級活動と関連付けて指導する。道徳やその他の全教育活動を通して、規範意識を高めるように努める。(清小) ・新学習指導要領に基づき、学級活動指導計画を全面的に改訂し、実態に即した実践を展開する。(清小) ・日常的に保護者や児童の相談に対応することができるように、相互の信頼関係を築く。(清小) ・学級や部活動での諸活動を通してその責任を果たさせることで、自己有用感やセルフエスティームの意識を高める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・異年齢集団の縦割り活動や学校行事の中で他者との係わりを通じ、自分発見の機会を持つことができた。(色小) ・基本的な生活習慣や廊下歩行・正しい言葉づかいなどを学級活動と関連付けて指導した。道徳やその他の全教育活動を通して、規範意識を高めるように努めた。(清小) ・新学習指導要領に基づき、学級活動指導計画を全面的に改訂し、実態に即した実践を展開した。(清小) ・日常的に保護者や児童の相談に対応することができるように、相互の信頼関係を築くことができた。(清小) ・目標を持たせ、学級や部活動での諸活動に取り組ませることを通じ、その責任を果たさせる指導を行い、自己有用感や自己肯定感を高めることに努めた。その結果、生徒・教師間のよき人間関係が築かれ、問題行動等はほとんどなく、落ち着いて諸活動に取り組む雰囲気が醸成されている。(色中) ※セルフエスティームとは・・・自尊心。自分を尊重する、大切にすること。	

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の展開
主 要 事 業	⑤ 定期相談やチャンス相談等による教育相談体制の充実
具体的取組計画等 ・スクールカウンセラー来校日や教育相談日及び日常のチャンス相談を活用し、保護者や児童との相談体制の充実を図る。(色小) ・スクールカウンセラー来校日等を「学校だより」で紹介したり、特に教育相談が必要な保護者には、電話等で連絡しながら直接相談を勧めたりするなど、積極的な活用を心掛け、実践に結び付けていく。(清小) ・児童の言動を把握し、教育相談コーディネーターが中心となり職員間で共通理解を図りながら、相談・支援にあたる。(清小) ・学級担任、部活動顧問のみならず教師全員が、生徒の言動を把握するように努める。また、生徒指導主事が中心となり職員間で共通理解を図りながら、相談・支援にあたる。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・スクールカウンセラーについては保護者や児童の理解が進み活用する機会が増え、定期的に相談する家庭もでてきている。また、4月末と11月末に行った教育相談も活用された。(色小) ・スクールカウンセラー来校日等を「学校だより」で紹介したり、特に教育相談が必要な保護者には、電話等で連絡しながら直接相談を勧めたりするなど、積極的な活用を心掛け、実践に結び付けることができた。(清小) ・児童の言動を把握し、教育相談コーディネーターが中心となって、職員間で共通理解を図りながら、相談・支援にあたることができた。(清小) ・学級担任、部活動顧問のみならず教師全員が、生徒の言動を把握し、日々の生徒観察やチャンス相談が適宜行われた。また、生徒指導主事が中心となり職員間で共通理解を図りながら、相談・支援にあたることができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の展開
主 要 事 業	⑥ スクールカウンセラーや相談員、関係機関との連携による適応指導の工夫
具体的取組計画等 ・保護者や教職員がスクールカウンセラーと相談しやすい環境を整えたり、外部の相談機関を活用したり、児童の適応指導を効果的に進める。(色小) ・保護者や教師がスクールカウンセラーと相談しやすい環境を作り、児童の適応指導を効果的に進める。関係機関との情報交換に努める。(清小) ・地域で取り組んでいる「あいさつ運動」を継続し、思いやりの心を育てる教育活動を推進していく。(清小) ・「言葉づかい」から見直させ、人間関係の醸成を図る。(清小) ・スクールカウンセラー及び外部関係機関との連携を密にするために、生徒指導主事・教頭・養護教諭が協力して対応策を検討し、職員間の共通理解を図り指導にあたる。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・スクールカウンセラーが教室を巡回したり給食を学級で摂ったりして児童や教職員と関係を深めることができたので、相談しやすい環境を整えることができた。業間や放課後に担任と相談する機会も増えた。(色小) ・保護者や教師がスクールカウンセラーと相談しやすい環境を作り、児童の適応指導を効果的に進めることができた。関係機関との情報交換にも、積極的に努めた。(清小) ・地域で取り組んでいる「あいさつ運動」を継続し、思いやりの心を育てる教育活動を推進した。(清小) ・「言葉づかい」から見直させ、人間関係の醸成を図ることができた。(清小) ・スクールカウンセラー及び外部関係機関との連携を密にするために、生徒指導主事・教頭・養護教諭が窓口となることができた。また、職員間の共通理解も図られ指導にあたることができた。今後もスクールカウンセラーや関係機関との連携を深め指導の工夫を継続していく。(色中)	

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(3) 望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進
主 要 事 業	① ボランティア活動等異年齢集団による実践活動の充実
具体的取組計画等 ・学校行事や総合的な学習の時間、クラブ活動、委員会活動、縦割り活動など、よりよい集団を築こうとする実践の場を設定する。(色小) ・奉仕活動、交流を含む学校行事や総合的な学習の時間、クラブ活動や委員会活動など、協力してよりよい集団を築こうとする実践の場を設定する。(清小) ・生徒会がボランティア活動(花いっぱい・あいさつ運動・校歌を歌おうプロジェクト)を企画し、多くの生徒の参加を促す。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・特に縦割り活動では、各グループが活動内容を工夫して、畑や花壇の作業、校庭の整備の活動などを取り入れ、より充実した実践ができた。(色小) ・奉仕活動、交流を含む学校行事や総合的な学習の時間、クラブ活動や委員会活動など、協力してよりよい集団を築こうとする実践の場を設定することができた。(清小) ・生徒会がボランティア活動(あいさつ運動・校歌を歌おうプロジェクト)を企画し、多くの生徒の参加を促すことができた。来年度は小中一貫校となることから、小学生との交流事業についても充実を図る。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(3) 望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進
主 要 事 業	② 望ましい集団づくりのための体験的な活動の充実
具体的取組計画等 ・学校行事やクラブ活動および委員会活動によるあいさつ運動, 善行の紹介・表彰, よりよい集団づくりの場を設定する。(色小) ・朝の会で「生活のめあて」を決めさせ, 帰りの会でその達成度について自己評価させる。(清小) ・何でも言い合える学級づくりを目指す。(清小) ・代表委員会を設定し, 学校生活の諸問題の解決や児童会行事などの自主的な運営を目指す。(清小) ・縦割り活動の活性化を図り, 異年齢の活動の機会を積極的に設定する。(清小) ・朝の会や帰りの会等を活用し, 話し合い活動の充実に努める。また, いじめ根絶の取り組みを生徒会中心に行うことや, 学級活動時にMAPを取り入れ, 望ましい集団づくりに努める。今後は, さらにMAPの回数を増やすことをはじめ, キャップハンディ体験等も実施する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・教師側の意図的な働きかけや計画委員会のリードのもと年間を通じ「あいさつ」運動に力を入れてきた。また, 生活朝会の中で具体的に指導場面を取り入れたり集団づくりの場を設定し活動の充実に努めた。(色小) ・朝の会で「生活のめあて」を決めさせ, 帰りの会でその達成度について自己評価させることができた。(清小) ・何でも言い合える学級づくりを目指して取り組むことができた。(清小) ・代表委員会を設定し, 学校生活の諸問題の解決や児童会行事などの自主的な運営を目指すことができた。(清小) ・縦割り活動の活性化を図り, 異年齢の活動の機会を積極的に設定した。(清小) ・朝の会や帰りの会等を活用し, 話し合い活動の充実に努めた。また, いじめ根絶の取り組みを生徒会中心に行うことや, 学級活動でMAPをはじめとした望ましい集団づくりのための手法を取り入れ指導にあたった。また, 福祉体験(キャップハンディ体験)を今後も実施していく。(色中) ※MAPとは・・・みやぎアドベンチャープログラム。体験学習法の一つであるPA(プロジェクト・アドベンチャー)の考え方や手法を取り入れた宮城県独自の教育方法。	

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(3) 望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進
主 要 事 業	③ 家庭や地域社会との連携による体験的な活動を通じた豊かな人間性の育成
具体的取組計画等 ・PTA活動やPTC活動, 地域の奉仕活動, 子供会活動及び公民館や諸団体が行う講座・教室などを積極的に活用し, 豊かな人間性の育成に努める。(色小) ・公民館や各種団体が行う講座・教室等の積極的な紹介や活用を図る。学年PTC活動, 地域奉仕活動, 美化清掃活動, 子ども会活動, 募金活動などを実施していく。(清小) ・1, 2年生活科の「まち探検」や3年以上は総合的な学習の時間の体験活動を通して, 人間の生き様に触れさせる。(清小) ・地域社会と連携した体験学習を重視し, 高齢者とのふれあい体験学習, 職場体験学習等を行い, 共生社会を築こうとする態度を育む。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・全ての学年でPTC活動を行ったり, 子供会単位で奉仕活動を取り入れた地区があったり, 保護者や地域の協力を得て体験的な活動を行うことができた。(色小) ・公民館や各種団体が行う講座・教室等の積極的な紹介や活用を図ることができた。学年PTC活動, 地域奉仕活動, 美化清掃活動, 子ども会活動, 募金活動などを, 充実して実施することができた。(清小) ・1, 2年生活科の「まち探検」や3年以上は総合的な学習の時間の体験活動を通して, 人間の生き様に触れさせることができた。(清小) ・町社会福祉施設での高齢者との交流活動, 幼稚園での保育体験, 地域事業所での職場体験等を通し, 共生社会を築こうとする態度, 豊かな人間性の育成に努めることができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	9 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具 体 的 施 策	(3) 望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進
主 要 事 業	④ 各教科や領域との関連を踏まえ、ねらいを明確にした学校行事の充実
具体的取組計画等 ・学芸会や朗読会、スピーチ発表会、給食感謝の会など、人との関わりから学ぶ学校行事の充実に努める。(色小) ・各教科や領域で学んだことの発表の場としての意義や保護者・コミュニティーセンターと連携を図り、行事をより一層充実させていく。(清小) ・学校行事が生徒にとって学校生活のアクセントとなっていることを踏まえながら、学習指導要領実施に伴う授業時数増に対応した、学校行事を精選し、生徒の活力となる学校行事を実践する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・運動会や学芸会はもろん、水泳記録会や持久走大会、あたご祭りなど多くの地域の人々に声援をもらい、充実した学校行事が展開できている。特に今年度は全ての行事で来校者が多かった。(色小) ・各教科や領域で学んだことの発表の場としての意義や保護者・コミュニティーセンターと連携を図り、行事をより一層充実させることができた。(清小) ・マラソン大会の復活をはじめ、生徒の実態や各学校行事のねらいを明確にし、各教科・領域・総合的な学習の時間と関連付け、諸行事を実施することができた。また、いずれの行事も生徒が主体的に運営することにより、生徒の活力を高める学校行事となった。(色中)	

教 育 の 重 点	10 学校体育、保健・安全教育、食育指導の充実
具 体 的 施 策	(1) 進んで運動に親しみ、体力の向上と運動を楽しむ姿勢を育成する指導の充実
主 要 事 業	① 心身の発達段階に応じた指導の工夫
具体的取組計画等 ・年間指導計画に基づき、発達段階に応じ、運動の楽しさを味わわせる指導に努める。(色小) ・「業前朝マラソン」の時間を設定して、音楽を流して5分間程度自分のペースで校庭を走るようにする。(清小) ・主として冬季間には、体育館の使用割り当てにより、縄跳びの練習をする。(清小) ・全校持久走の実施(業前、業間)、学年ごとにコースを設定し、一人一人目標タイムに向けて取り組ませる。(清小) ・本校の生徒の体力低下という実態を受け、行事の精選によりとりやめた校内持久走大会及び運動会を復活する。今後は、より体力を向上させるために、自転車通学の奨励や陸上大会、駅伝大会に向けた練習により多くの生徒に参加させるよう努める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・体育の授業の充実を図るとともに、業前、業間、昼休み、放課後等も運動を楽しむ児童が多く、常に体力の向上に努めている。特に冬場でも外遊びを好む児童が多いので年間を通じ身体を動かしている児童が多い。(色小) ・「業前朝マラソン」の時間を設定して、音楽を流して5分間程度自分のペースで校庭を走るようにした。年間を通した取り組みを行うことができた。(清小) ・主として冬季間には、体育館の使用割り当てにより、縄跳びの練習を行った。「校内縄跳び大会」につなげることができた。(清小) ・全校持久走の実施(業前、業間)、学年ごとにコースを設定し、一人一人目標タイムに向けて取り組ませることができた。(清小) ・本校の生徒の体力低下という実態を受け、行事の精選によりとりやめた校内持久走大会を復活させた。また、陸上大会、駅伝大会に向けた練習により多くの生徒に参加させるよう努めた。その結果、持久力をはじめ体力の向上が見られた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	10 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具 体 的 施 策	(1) 進んで運動に親しみ, 体力の向上と運動を楽しむ姿勢を育成する指導の充実
主 要 事 業	② 進んで運動に親しみ生涯スポーツの基礎を培う体育
具体的取組計画等 ・水泳記録会や持久走大会など自己目標の達成を目指させたり, 基礎基本を大切にした体育の授業を行い, 進んで運動に親しむ姿勢を育てる。(色小) ・大崎陸上競技大会等への積極的参加を促す。学校全体でチーム指導を行いながら, 大会への意欲付けを図る。(清小) ・4月から継続的に取り組ませ, 選手のみならず, すべての子どもの走力を中心に, 向上させていく。(清小) ・運動と健康との関係に関する指導を各教科領域で取り上げ, 運動に親しもうとする意欲を喚起する。また, 郡中総体, 郡中体連陸上競技大会, 郡中体連駅伝大会等に積極的に参加する生徒を増やす。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・水泳記録会や持久走大会では, 自己目標を設定させ, 当日までの練習の過程の指導を充実させたので, 多くの児童が意欲的にそれぞれの課題に取り組むことができた。(色小) ・大崎陸上競技大会等への積極的参加を促すことができた。学校全体でチーム指導を行いながら, 大会への意欲付けを図ることができた。(清小) ・4月から継続的に取り組ませ, 選手のみならず, すべての子どもの走力を中心に, 向上させていくことができた。実際のデータでも, きちんと向上が見られる。(清小) ・運動と健康との関係に関する指導を各教科領域で取り上げ, 運動に親しもうとする意欲を喚起した。また, 郡中体連陸上競技大会, 郡中体連駅伝大会等への参加を奨励した。夏休みの駅伝練習には運動部はもちろんのこと文化部の生徒も参加した。(色中)	

教 育 の 重 点	10 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具 体 的 施 策	(1) 進んで運動に親しみ, 体力の向上と運動を楽しむ姿勢を育成する指導の充実
主 要 事 業	③ 体力・運動能力の向上を目指した日常的な体育活動の設定
具体的取組計画等 ・体育の授業を充実させるとともに, 日常の業間や放課後の外遊びを奨励し, 体力向上目指す姿勢を育てる。(色小) ・体力テストや児童の実態, さらに保護者の願いをもとに, 年間指導計画の自校化を図る。(清小) ・持久走や縄跳び運動など, 継続的に全校体制で取り組む。(清小) ・運動の特性に応じた自己課題の解決を目指した活動を工夫する。(清小) ・病気の予防法および健康な生活の大切さを理解させ, 健康の保持増進を図る。(清小) ・部活動や保体等, 日常的な体育活動に, 自身の体調に合わせながら, 参加するよう声かけをする。今後は, もっと多くの生徒が, 体育活動に参加し, 体力向上に努めるような支援策を検討・実施していく。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・各学年1・2組合同で体育の授業を行う機会を多くし, 複数の教員で指導にあたっているので特に低学年部は充実した授業になっている。また, 業前, 業間, 昼休み, 放課後と多くの児童がサッカーやボール遊び, 外遊びを好み, 大いに体力の向上が図られている。(色小) ・体力テストや児童の実態, さらに保護者の願いをもとに, 年間指導計画の自校化を図ることができた。(清小) ・持久走や縄跳び運動など, 継続的に全校体制で取り組むことができた。(清小) ・運動の特性に応じた自己課題の解決を目指した活動を工夫することができた。(清小) ・病気の予防法および健康な生活の大切さを理解させ, 健康の保持増進を図ることができた。(清小) ・部活動や保健体育の授業等, 日常的な体育活動に休まずに参加するよう指導してきた。また, マラソン大会を復活させ体力向上に努めるよう意識付けを行った。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	10 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具 体 的 施 策	(2) 食生活に関する正しい知識と望ましい食習慣形成を図る食育指導の充実
主 要 事 業	① 栄養教諭による発達段階に応じた食育指導及び給食指導の実践と改善
具体的取組計画等 ・年間指導計画に基づく学級指導と給食センターの栄養士による食育指導・給食指導を行う。(色小) ・学校給食運営委員会の年2回実施する。(清小) ・給食センターからのたよりをもとに、確実に学級で指導を行っていく。給食主任を中心として結果をまとめ、食の指導に生かしていく。(清小) ・給食委員会の児童が中心となり、「給食週間」を活用して、給食に関する児童集会を行う。(清小) ・食材がどこから来たのかを調べたり、学校の畑で栽培した食材を実際に食べてみる。(清小) ・月予定献立表や給食だよりを発行し配布することで、家庭への食習慣の改善とともに、食と健康に関する意識を高める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・月別の目標に従って学級での指導を充実させるとともに、給食センターの栄養士による食育指導・給食指導を低学年では年2回、中高学年では年1回行うことができた。また、給食週間を設け「給食感謝の会」でも栄養士から食に関する指導を行った。(色小) ・学校給食運営委員会を、年1回実施した。(清小) ・給食センターからのたよりをもとに、確実に学級で指導を行った。給食主任を中心にして結果をまとめ、食の指導に生かすことができた。(清小) ・給食委員会の児童が中心となり、「給食週間」を活用して、給食に関する児童集会を行った。(清小) ・食材がどこから来たのかを調べたり、学校の畑で栽培した食材を実際に食べてみることもできた。(清小) ・栄養士による給食だよりや昼の校内放送での給食メニューの説明を通して、食育指導を行った。今後は、外部指導者や栄養士による講話等をPTA等と連携しながら企画し、家庭における食育の充実も図りたい。(色中)	

教 育 の 重 点	10 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具 体 的 施 策	(2) 食生活に関する正しい知識と望ましい食習慣形成を図る食育指導の充実
主 要 事 業	② 家庭や地域社会と連携した望ましい食習慣形成と生活習慣病予防のための指導
具体的取組計画等 ・たより等で「よいすいみん、よいめざめ、そして朝ごはん」運動を推進する。また日常の給食指導や献立表の家庭への配布を通して望ましい食習慣形成を行う。(色小) ・「生活習慣に関する調査」を実施し、就寝・起床時刻、食事の摂り方等、継続して、日常生活の様子を把握するようにする。(清小) ・全学級に、年に2回ずつ、給食センターの栄養士に入ってもらい、給食指導について参観・指導を受けられる体制づくりを進める。(清小) ・「自分でつくる弁当の日」を年4回行い、望ましい食習慣について考えさせる一助とする。また、養護教諭による保健だより及び栄養士による給食だよりを通して、食と生活習慣病の関係について、生徒・保護者へ啓発を図る。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・折に触れて、学校だよりや保健だより等で「よいすいみん、よいめざめ、そして朝ごはん」など、望ましい食習慣の形成を呼びかけた。(色小) ・「生活習慣に関する調査」を実施し、就寝・起床時刻、食事の摂り方等、継続して、日常生活の様子を把握するように努めた。(清小) ・全学級に、年に2回ずつ、給食センターの栄養士に入ってもらい、給食指導について参観・指導を受けられる体制づくりを進めることができた。(清小) ・「自分でつくる弁当の日」について学校だよりで保護者に紹介し、望ましい食習慣について考えさせる一助とした。また、養護教諭による保健だより、食と生活習慣病の関係についての内容を掲載し、生徒・保護者への啓発を図った。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	10 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具 体 的 施 策	(2) 食生活に関する正しい知識と望ましい食習慣形成を図る食育指導の充実
主 要 事 業	③ 食事を通した望ましい人間関係をはぐくむ指導の充実
具体的取組計画等 ・毎日の給食の時間を大切にするとともに, 給食週間を設け, 生産者や給食センターの職員にお礼の手紙やプレゼントを準備し, 「給食感謝の会」を実施する。(色小) ・「給食週間」には, 様々な企画を実施して, なお一層, 食への関心を高めていく。また, 給食を作ってもらっている職員への「感謝の会」を企画・実践する。(清小) ・給食主任が中心となって, 従来の「給食だより」から一歩進めた「食育だより」を, 今年度も作成, 配布し, 食についての啓発を図る。(清小) ・月予定献立表や給食だよりを発行し各家庭に配布する。また, 学校給食の移り変わり等を給食だよりや昼の校内放送で生徒に伝える。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・給食委員会の放送による呼びかけや日常の給食の学級指導の中で, 食に関する指導を行った。また, 給食週間に行った「給食感謝の会」では, りんごや味噌生産者の人と給食センターの栄養士を招きアイデアに溢れた会を催すことができた。(色小) ・「給食週間」には, 様々な企画を実施して, なお一層, 食への関心を高めることができた。また, 給食を作ってもらっている職員への「感謝の会」を企画・実践した。(清小) ・給食主任が中心となって, 従来の「給食だより」から一歩進めた「食育だより」を, 今年度も作成, 配布し, 食についての啓発を図ることができた。(清小) ・給食時にグループで準備したり, 一緒に食事をするのがよき人間関係づくりの一環になっており, 今後も継続していく必要がある。(色中)	

教 育 の 重 点	10 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具 体 的 施 策	(3) 健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実
主 要 事 業	① 発達段階に応じた保健・安全指導の工夫
具体的取組計画等 ・年間指導計画に基づいて, 心や体の健康, 歯の健康, 薬物乱用防止などの授業を行う。また, 学校保健委員会を開催し, 保健・安全指導に生かす。(色小) ・健康教育全体計画に従って, 薬物乱用防止教室を実施する。(清小) ・学校保健委員会を実施する。また, 学校給食委員会を実施する。両者は別の会議であるが, 児童の健全育成に関わる重要な内容であることから, 連携を図る。(清小) ・学校保健委員会の年1回以上の開催。校医, 栄養士等から健康的な生活習慣の形成, う歯, 視力低下予防, 清掃の徹底, 性教育, 酒・タバコ, 薬物の害等に関する指導を行う。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・心や体の健康や歯の健康に関しては授業で取り上げることができたが, 「薬物乱用防止教室」を実施することはできなかった。(色小) ・学校保健委員会は学校医, 薬剤師等多くの人に参加してもらって充実した内容になり, 保健・安全指導に生かすことができた。(色小) ・健康教育全体計画に従って, 薬物乱用防止教室を実施することができた。(清小) ・学校保健委員会を実施した。また, 学校給食委員会を実施した。両者は別の会議であるが, 児童の健全育成に関わる重要な内容であることから, 連携を図った。(清小) ・加美警察署員による, 「薬物乱用防止教室」や学校保健委員会での校医からの助言を参考に, 健康的な生活に必要な事項を実践する習慣を確立するよう支援した。保健だよりによる啓発も行った。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	10 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具 体 的 施 策	(3) 健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実
主 要 事 業	② 家庭や地域と連携した交通安全及び不審者対策の指導の徹底
具体的取組計画等 ・毎月10・20・30日教職員が街頭指導を行い, 5・15・25日にはPTAであいさつ運動を行う。また, 地区子供会でも, 地区内の危険箇所では街頭指導を実施する。(色小) ・毎月1・15日に校門等で教職員が街頭指導を実施する。(清小) ・各地区に協力をもらって, 朝の「あいさつ運動」を実施していく。その際, 児童のあいさつの様子, 交通安全等についても巡視してもらい, 結果については情報を提供してもらいながら, 指導に生かしていく。(清小) ・春と秋の交通安全運動期間中の登校時間帯に街頭指導を実施する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・街頭指導, あいさつ運動ともに計画的に行われた。特に街頭指導は児童の登校数に合わせ, 場所を変更して行うなど工夫した活動となった。(色小) ・毎月1・15日に校門等で教職員が街頭指導を実施することができた。(清小) ・各地区に協力をもらって, 朝の「あいさつ運動」を実施した。その際, 児童のあいさつの様子, 交通安全等についても巡視してもらい, 結果については情報を提供してもらいながら, 指導に生かすことができた。(清小) ・春と秋の交通安全運動期間中の登校時間帯に街頭指導をはじめ, 年間を通し, 登下校時の学校周辺の指導を行うとともに, 外部講師を招き交通安全教室を開催した。また, 集会時の交通安全及び不審者への対応に関する指導も行った。(色中)	

教 育 の 重 点	10 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具 体 的 施 策	(3) 健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実
主 要 事 業	③ 心身の健康や安全に関する自己管理能力の育成
具体的取組計画等 ・年3回の身体計測や各種健康診断を実施し, 自分の健康についての関心を高める。また, 交通安全教室や避難訓練を通し, 安全指導の充実を図る。(色小) ・4・9・1月の年3回身体測定を実施。健康相談は日常的に呼び掛け, 随時行っていく。また, スクールカウンセラーの効果的な活用を図る。(清小) ・4月早期に実施→低学年:校地内で安全な歩行の仕方, 中学年以上:正しい自転車の乗り方。秋も, 安全な歩行や校地外での自転車の乗り方等について確認する。「交通安全教室」を, 年2回実施する。(清小) ・定期健康診断, 身体計測を実施し, 必要に応じて養護教諭を中心に個別指導を行う。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・身体計測や健康診断について, 個人票や保健だより等で情報を提供したので健康についての関心を高めることができた。また, 避難訓練や引き渡し訓練は幼稚園と合同で行いよりよい訓練となった。(色小) ・4・9・1月の年3回身体測定を実施した。健康相談は日常的に呼び掛け, 随時行うことができた。また, スクールカウンセラーの効果的な活用を図ることができた。(清小) ・4月早期に実施→低学年:校地内で安全な歩行の仕方, 中学年以上:正しい自転車の乗り方。秋も, 安全な歩行や校地外での自転車の乗り方等について確認することができた。「交通安全教室」を, 年2回実施した。(清小) ・定期健康診断, 身体計測の結果を保護者に通知した。肥満や疾病への対応, 感染症流行前の予防策等について養護教諭や保健体育科教員を中心に生徒への指導を行い, 自己管理能力育成に努めた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	10 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具 体 的 施 策	(3) 健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実
主 要 事 業	④ 各教科, 道徳, 特別活動との関連を図った性に関する指導の工夫
具体的取組計画等 ・年間指導計画に基づき各教科や道徳で性に関する指導をするともに, 高学年では泊を伴う行事の事前指導を活用して行う。(色小) ・5学年の合宿行事を前にした性に関する指導や, 校医による出前講座を実施する。また, 大学の講師を招き, 「食」に関する講話をもらう(4月のPTA全体会で保護者を対象に実施する)。(清小) ・町の保健福祉センターや学校医, 保護者や外部講師を活用し, 性や食に関する指導の充実を図る。(清小) ・各教科, 道徳, 特別活動における性に関する教育の学習内容を分析する。また, その内容を整理し, 教材として活用できるよう再構築を図り, 指導計画に位置づける。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・各学年の発達段階に応じ教科や道徳等で性に関する指導を行った。5, 6年生は「花山合宿」や「修学旅行」の事前指導で担任や養護教諭による指導を行った。(色小) ・5学年の合宿行事を前にした性に関する指導や, 校医による出前講座を実施することができた。また, 大学の講師を招き, 「食」に関する講話をもらった(4月のPTA全体会で保護者を対象に実施した)。(清小) ・町の保健福祉センターや学校医, 保護者や外部講師を活用し, 性や食に関する指導の充実を図ることができた。(清小) ・性に関する指導を, 全教科・領域を通して指導しなければならないが, 現段階では, 保健体育の授業や養護教諭の個別指導が主となっている状況である。より充実した指導となるよう, 各教科, 道徳, 特別活動の横断的な指導の在り方について工夫を加えたい。(色中)	

教 育 の 重 点	10 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具 体 的 施 策	(3) 健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実
主 要 事 業	⑤ 発達段階に応じた放射線やその影響に関する適切な指導の工夫
具体的取組計画等 ・生活科や理科の時間に放射線に関する冊子や視聴覚教材で, 放射線の作用や人体への影響について指導を行う。(色小) ・より専門的な見地から, 分かりやすく放射線についての理解を深める出前授業を計画する。(清小) ・放射線に関する講話や掲示物を通して, 放射線について理解を深めるような指導を行う。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・低学年では生活科, 中・高学年では理科の授業の中で指導を行った。(色小) ・より専門的な見地から, 分かりやすく放射線についての理解を深める出前授業を計画することができた。(清小) ・養護教諭が中心となり, 放射線に関する掲示物や線量の数値を提示し, 放射線に対する知識を深めるよう努力した。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	11 一人一人の発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
具 体 的 施 策	(1) 発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
主 要 事 業	① 校内(特別)支援教育委員会及び就学指導委員会の活動の充実
具体的取組計画等 ・「あたごの子支援委員会」や全体会において、特別に配慮が必要な児童の個別の支援計画や指導計画を作成し、個に応じた指導を行う。(色小) ・「特別支援委員会」を、「生徒指導研修会」と密接に関連させながら実施していく。(清小) ・特別支援教育コーディネーターを中心とした全教職員の共通理解や研修を推進する。(清小) ・個別の指導計画や支援計画を十分に活用して、全職員で検討して指導・支援にあたる。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・1学期末にチェックリストをもとに、配慮が必要な児童を「あたごの子支援委員会」で検討し、低学年を中心に児童の個別の支援計画を作成して指導にあたった。(色小) ・「特別支援委員会」を、「生徒指導研修会」と密接に関連させながら実施することができた。(清小) ・特別支援教育コーディネーターを中心とした全教職員の共通理解や研修を強力に推進することができた。(清小) ・特別支援教育コーディネーターを中心に職員間の情報交換を密にした。また、県教育委員会特別支援室、古川支援学校、大崎市民病院(小児科)等、関係諸機関との連携を深めた。そのことから、よりきめ細かく生徒の支援にあたることができた。(色中)	

教 育 の 重 点	11 一人一人の発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
具 体 的 施 策	(1) 発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
主 要 事 業	② 特別支援教育コーディネーターを中心とした関係機関との連携による校内研修及び支援体制の充実
具体的取組計画等 ・特別支援教育コーディネーターを中心に関係機関を活用した教職員の研修機会を計画的に実施する。(色小) ・特別支援教育コーディネーターを中心として、特別支援教育についての全教職員の共通理解を深め、共通行動が取れるようにする。(清小) ・拓桃支援学校や古川支援学校、役場福祉課等、関係諸機関とも連携を図り、特別支援教育委員会並びに就学指導委員会の活動を充実させていく。(清小) ・学習支援室の機能を有効に活用し、通常学級の中で対象となる生徒へ細やかな支援を行う。特に配慮を要する生徒への支援について、学習支援室の機能を有効に活用し、きめ細やかな指導にあたる。また、支援校の協力を得ながら指導・支援の在り方や検査について研修するとともに、ケース会議を行う。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・特別支援部の教員が個別に研修の機会を持つことはできたが、関係機関を活用した研修を実施するには至らなかった。(色小) ・特別支援教育コーディネーターを中心として、特別支援教育についての全教職員の共通理解を深めた。その結果、より一層、共通行動を進めることができた。(清小) ・拓桃支援学校や古川支援学校、役場福祉課等、関係諸機関とも連携を図り、特別支援教育委員会並びに就学指導委員会の活動を充実させていくことができた。(清小) ・通常学級における配慮を要する生徒への支援について、学習支援室の機能を有効に活用し、きめ細やかな指導にあたることができた。また、古川支援校の協力を得ながら指導・支援の在り方や検査について研修するとともに、ケース会議を行うことができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	11 一人一人の発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
具 体 的 施 策	(1) 発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
主 要 事 業	③ 特別支援教育計画及び個別の支援計画の作成と積極的な活用
具体的取組計画等 ・「あたごの子支援委員会」や全体会で作成する配慮が必要な児童の個別の支援計画や指導計画を活用し、学年部や特別支援部が協力して指導を行う。(色小) ・特別支援教育コーディネーターを中心に、校内体制づくりを充実させ、全教職員で研修を積みながら、特別支援教育の充実に向けて、より一層歩みを進める。(清小) ・特別支援教育計画及び個別の支援計画の作成を綿密に行う。適宜修正を加えながら、よりよいものを作り上げていくようにする。(清小) ・職員間の共通理解を図りながら、個別の指導計画を作成、改善を加え、支援にあたる。通常学級に在籍する特に配慮を要する生徒の個別の指導計画も整備する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・1学期末のチェックリストをもとに、配慮が必要な児童を「あたごの子支援委員会」で検討し、低学年を中心に児童の個別の支援計画を作成し、担任や特別支援部員が協力して指導にあたった。(色小) ・特別支援コーディネーターを中心に、校内体制づくりを充実させ、全教職員で研修を積みながら、特別支援教育の充実に向けて、より一層歩みを進めることができた。(清小) ・特別支援教育計画及び個別の支援計画の作成を綿密に行った。適宜修正を加えながら、よりよいものを作り上げていくよう努め、実践を深めることができた。(清小) ・新しい統合色麻小学校に向けて、色麻小・清水小と協力しながら「特別支援教室」の新設協議書を作成、提出することができた。(清小) ・職員間の共通理解を図りながら、個別の指導計画を作成し支援にあたった。通常学級に在籍する配慮を要する生徒の個別指導についても、学習支援室システム事業を有効活用し支援にあたることができた。(色中)	

教 育 の 重 点	11 一人一人の発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
具 体 的 施 策	(1) 発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
主 要 事 業	④ 交流学习推進のための協力体制の確立と適切な進路指導
具体的取組計画等 ・交流学习の指導計画に基づき、学級・学年の交流や学校行事、縦割り活動を活用して指導を行う。(色小) ・特別支援教育コーディネーターを中心に、校内体制づくりを充実させ、全職員が研修を積み上げながら特別支援教育の充実を図る。(清小) ・該当生徒のレディネスを把握し、なるべく多くの教科・領域の学習を通常学級で行う。また、3年間を見通した進路指導にあたる。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・1年、2年、3年、4年の児童がそれぞれの実態に応じ交流学級の学習を計画的に行った。また、学年を越えて異年齢との交流も縦割り活動や学校行事を活用して行った。(色小) ・交流学习の指導計画に基づき、学級・学年の交流や学校行事、縦割り活動を活用して指導を行った。(色小) ・特別支援教育コーディネーターを中心に、校内体制づくりを充実させ、全職員が研修を積み上げながら特別支援教育の充実を図ることができた。(清小) ・特別支援学級に在籍する生徒と協力学級との生徒間の人間関係が築かれ、安心して生活できる環境にある。進路指導については、保護者との連携をより深めるとともに、3年間を見通した進路指導についてより工夫を加え指導していく。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	12 情報活用能力の育成と情報モラルを培う情報教育の推進
具 体 的 施 策	(1) 情報社会に適応できる情報教育の推進
主 要 事 業	① 情報教育推進のための校内体制及び周辺機器の整備・充実
具体的取組計画等 ・現職教育の一貫として教材や機器の活用方法の研修会を実施する。また、使いやすい保管を工夫し、定期的な整備と保管場所の整理整頓を行う。(色小) ・担任や情報教育主任が中心となって、学校支援ボランティアなどを積極的に活用し、情報モラルやリテラシーの育成を図る。(清小) ・生徒、職員にとって使いやすい教室、周辺機器となるよう整備に努める。また、アップデート等を行うことで常に機器が最良の状態で使用できるように保つ。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・情報教育に関する研修会を実施することはできなかった。(色小) ・担任や情報教育主任が中心となって、学校支援ボランティアなどを積極的に活用し、情報モラルやリテラシーの育成を図ることができた。(清小) ・周辺機器の活用等について、担当者を中心に連携を図り、生徒・職員にとって使いやすい状況の整備に努めた。セキュリティについても常にアップデートを行うことができた。(色中) ※アップデートとは・・・ソフトウェアやデータなどを、より新しいもの書き換えること。	

教 育 の 重 点	12 情報活用能力の育成と情報モラルを培う情報教育の推進
具 体 的 施 策	(1) 情報社会に適応できる情報教育の推進
主 要 事 業	② 各教科等の学習における情報活用能力の育成
具体的取組計画等 ・指導計画に基づき、パソコンを操作して目的に応じて必要な情報を得ることができる知識や能力を育成する。(色小) ・積極的にパソコンを活用して授業に取り入れるように、呼び掛けを続ける。また、実際に活用していく。(清小) ・技術科での情報分野の学習をもとに、各教科でもパソコンを活用し、ICT能力を高めさせる。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・各学年の指導計画に基づいてパソコン操作に関する授業は行ったが、目的に応じた活用能力の育成を図ることができなかった。(色小) ・積極的にパソコンを活用して授業に取り入れるように呼び掛け、実際に活用していくことができた。(清小) ・技術科での情報分野の学習をはじめ、他教科においてもパソコンを活用し授業を行った。生徒がより高度な技能を身に付けるための指導の工夫については、更に検討しなければならない。(色中) ※ICTとは・・・Information and Communication Technology(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略で、情報処理および情報通信、つまり、コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称である。	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	12 情報活用能力の育成と情報モラルを培う情報教育の推進
具 体 的 施 策	(1) 情報社会に適応できる情報教育の推進
主 要 事 業	③ デジタルコンテンツの活用に向けた環境整備とデータベース化の工夫
具体的取組計画等 ・デジタルデータで表現された文章、音楽、映像を有効に活用するために、データベース化を図る。(色小) ・成績処理、通信票等の作成においては、ホストパソコンで情報を一括管理する等データベース化を図り、事務に関する時間、職員の負担の軽減を図る。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・音楽、映像などデジタルデータの活用は個人で行うにとどまり、データベース化には至らなかった。(色小) ・成績処理、通信票等の作成において、ホストパソコンで情報を一括管理する等データベース化を図り、事務に関する時間、職員の負担の軽減を図ることができた。(色中)	

教 育 の 重 点	12 情報活用能力の育成と情報モラルを培う情報教育の推進
具 体 的 施 策	(1) 情報社会に適応できる情報教育の推進
主 要 事 業	④ ネットワーク環境の整備とセキュリティーの確保
具体的取組計画等 ・パソコンや周辺機器、電子黒板等の活用を図る実技研修などを行い、情報教育の推進に努める。(色小) ・新たに設置されたパソコンや電子黒板等の使用と活用についての校内研修を計画的に実施し、職員一人一人がより効率的に機材を使いこなせるようにする。(清小) ・情報研修会を実施し、教職員の共通理解を図るとともに、年間指導計画と照らし合わせて、必要なソフトのリストアップを行う。(清小) ・生徒情報の持ち出しや不正なダウンロード等を禁じた規程を作成し、事故防止に努める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・電子黒板は英語活動、教材提示装置は各教科領域で担任が個別に使用したが、実技研修会を行うことはできなかった。(色小) ・パソコンや電子黒板等の使用と活用について校内研修を計画的に実施し、職員一人一人がより効率的に機材を活用できるようにした。(清小) ・情報研修会を実施し、教職員の共通理解を図るとともに、年間指導計画と照らし合わせて、必要なソフトのリストアップを行った。(清小) ・生徒情報の持ち出しや不正なダウンロード等を禁じた規程を作成し、事故防止に努めた。今後も細心の注意を払っていく。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	12 情報活用能力の育成と情報モラルを培う情報教育の推進
具 体 的 施 策	(1) 情報社会に適応できる情報教育の推進
主 要 事 業	⑤ 情報モラルやネット利用マナーの指導徹底
具体的取組計画等 ・情報主任が中心となり情報モラルやメール、ネチケットに関する指導を発達段階に応じて行う。(色小) ・「生活のきまり」の内容を全職員で周知し、「情報モラル」の指導の充実を図る。(清小) ・ICTやモラルに関する規程を作成・整備し、教育計画に位置づける。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・コンピュータによる調べ学習の際に、情報モラルやネチケットに関する指導を行った。(色小) ・「生活のきまり」の内容を全職員で周知し、「情報モラル」の指導の充実を図ることができた。(清小) ・情報教育計画に基づき、技術の授業を中心に指導にあたった。また、外部講師を招いて携帯電話等の安全な利用方法についての講話をはじめ、学級活動、全校集会等でも指導にあたった。(色中) ※ネチケット・・・現実世界でのマナーを基本に、ネット上の特性を追加したエチケット。	

教 育 の 重 点	13 各教科、道徳、特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(1) 世界の中の日本についての認識と国際理解教育の推進
主 要 事 業	① 日本並びに地域の伝統や文化に対する関心や理解を高める指導の推進
具体的取組計画等 ・各教科、特別活動、総合的な学習の時間などにおいて、日本の伝統的文化や色麻の伝統的文化を教材に取り入れる。(色小) ・日本の伝統的文化を、各教科、道徳、特別活動、外国語活動、総合的な学習の時間など、全教育活動を通して理解したり、味わったりすることができるようにする。(清小) ・総合的な学習の時間や外国語活動では、ALTとの交流を通して体験的な活動に取り組むことで、「日本の伝統的な文化」にも目を向けられるようにしていく。(清小) ・英語や社会科の授業を中心に、外国に目を向け、視野を広げるよう指導する。また、自国の文化と他国の文化を比較しながら、他国との違いについて理解し、共生社会をつくる意識をより高める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・社会科では昔の暮らしや地域に伝わる祭り、国語では古典の学習を行い日本の伝統的文化学習を行った。また、学校行事では色小かつぱ太鼓や色小ソーラン、かつぱブギなど色麻の伝統的文化に取り組んだ。(色小) ・日本の伝統的文化を、各教科、道徳、特別活動、外国語活動、総合的な学習の時間など、全教育活動を通して理解したり、味わったりすることができるようにした。(清小) ・総合的な学習の時間や外国語活動では、ALTとの交流を通して体験的な活動に取り組むことで、「日本の伝統的な文化」にも目を向けられるようにした。(清小) ・英語や社会科の授業を中心に、外国に目を向け、視野を広げるよう指導した。今後は、自国の文化と他国の文化を比較しながら、他国との違いについて理解し、共生社会をつくる意識をより高めなければならない。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(1) 世界の中の日本についての認識と国際理解教育の推進
主 要 事 業	② 外国語指導助手及び外国人との積極的な交流による異文化理解教育の推進
具体的取組計画等 ・高学年は外国語活動として年間35時間をALTと活動し, 1年から4年は年間6時間程度の英語活動を行う。また, 国際理解コーナーを設け, 異文化への関心を高める掲示を工夫する。(色小) ・1～4年生は「創意の時間」扱いで10時間程度の国際交流を実施する。5・6年生は「外国語活動」として35時間の授業を進めていく。ALTと担任による指導を深めていく。(清小) ・各教科との関連を意識して, すべての教科で国際理解教育の視点を意識した実践を行う。(清小) ・ALTを活用し, 言語のみではなく異国文化に触れることで広い視野をもつ人間形成の一助とする。また, 国際理解に関する廊下掲示等を工夫する等, さらに改善を加えていく。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・5, 6年生では学級担任とALT, 町英語教諭による3人体制で充実した外国語活動を行うことができた。1年生から4年生では担任と英語補助員の支援のもと英語活動を行った。また, 階段の踊り場や2階の掲示板に設置した国際理解コーナーは内容を毎月更新し, 児童の興味関心を高めることができた。(色小) ・1～4年生は「創意の時間」扱いで10時間程度の国際交流を実施することができた。5・6年生は「外国語活動」として, ALTと担任との指導により, 35時間の授業を進め, 実践を深めることができた。(清小) ・各教科との関連を意識して, すべての教科で国際理解教育の視点を意識した実践を行うことができた。(清小) ・ALTを活用し, 言語のみではなく異国文化に触れることで広い視野を持つ人間形成の一助となった。また, 国際理解に関する廊下掲示等をALTと英語科で制作した。(色中)	

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(2) 環境への理解を深め, よりよい環境の在り方について考える姿勢の育成
主 要 事 業	① 地域の自然や環境に関する体験活動を通した環境保全の意識と環境モラルの育成
具体的取組計画等 ・町農林課や公民館, アグリカッパの支援により, 植栽活動や, 栽培活動, 稲の栽培など体験活動を実施する。(色小) ・学習田・学習畑や学校花壇を活用した栽培活動を推進する。苗(種)植えから除草, 収穫までの体験を通して, 収穫の喜びを味わえるようにする。(清小) ・町農林課や公民館との共催事業による「花いっぱい運動」や学校支援ボランティア等との植栽活動や環境整備, 各学級の花壇や学校園などの植栽活動を通して, 児童の主体的な活動を促し, 勤労生産の喜びを体感させる。(清小) ・新校舎建設に伴う花壇の撤去により, 花いっぱい運動を実施することができなくなった。そこで, ゴミの分別等から環境問題について考えさせることや環境教育主任による諸掲示物にも工夫をし, 環境モラル等を育んでいく。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・岩魚の稚魚放流や大根・人参・サツマイモ・パプリカ・稲の栽培等を各学年が計画的に行ったり, 学校支援のボランティアの協力を得てマリーゴールドやサルビアなどの植栽を春と秋に行ったりして, 体験活動を通して自然や環境に関する意識を高めた。(色小) ・学習田・学習畑や学校花壇を活用した栽培活動を推進した。苗(種)植えから除草, 収穫までの体験を通して, 収穫の喜びを十分に味わわせることができた。(清小) ・町農林課や公民館との共催事業による「花いっぱい運動」や学校支援ボランティア等との植栽活動や環境整備, 各学級の花壇や学校園などの植栽活動を通して, 児童の主体的な活動を促し, 勤労生産の喜びを体感させることができた。(清小) ・新校舎建設に伴う花壇の撤去により, 花いっぱい運動を実施することができなくなったが, 校舎改築における生活環境をできる限り良好な状態となるような指導を行ったことにより, 環境保全の意識を育む指導ができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(2) 環境への理解を深め, よりよい環境の在り方について考える姿勢の育成
主 要 事 業	② 各教科, 道徳, 特別活動との関連を図った環境保全に向けた実践的態度の育成
具体的取組計画等 ・各教科の指導計画や縦割り活動で栽培活動, 除草活動を行ったり, 花川やゴミの学習などを通し, 環境に関わる学習を行う。(色小) ・「花いっぱい運動」への取り組み, 各学年の計画に対応した植物の栽培・収穫活動, 校庭や学級の畑の除草活動等, 身体を通した活動を多く取り入れ, 実践的態度の涵養を図る。(清小) ・日常の清掃作業に真剣に取り組ませるとともに, 学期毎の大掃除「愛校作業」を行う。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・花川の探検や探索, ゴミ処理場の見学などを通し環境に関わる学習を行った。また, 縦割り学習でも校庭整備や除草活動を行った。(色小) ・「花いっぱい運動」への取り組み, 各学年の計画に対応した植物の栽培・収穫活動, 校庭や学級の畑の除草活動等, 身体を通した活動を多く取り入れ, 実践的態度の涵養を図ることができた。(清小) ・清掃時には, 生徒・教師ともに活動にあたり, 真剣かつ丁寧に取り組む姿勢が見られ, 校舎内は常に清掃が行き届いている。学期末の大掃除「愛校作業」も同様であり, 指導を継続していく。(色中)	

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(3) 人間尊重・福祉の心を大切にしたい人権・福祉教育の推進
主 要 事 業	① 互いに認め合い, ともに生きる心を育てる人権・福祉教育の推進
具体的取組計画等 ・「やさしい子『相手の気持ちを考え, 互いに協力する子』」を目指す児童像に掲げ, 人権・福祉教育の推進に努める。(色小) ・人権教育の全体計画をもとにして, 学年ごとの年間指導計画を作成し, 実践していく。(清小) ・スクールプランの柱の一つに位置づけ, ボランティア活動を通して思いやりの心を醸成する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・人権教育計画に基づき, 目指す児童像の具現化に努め, 委員会を中心とした募金活動や福祉体験などを行った。(色小) ・人権教育の全体計画をもとにして, 学年ごとの年間指導計画を作成し, 実践を進めることができた。(清小) ・教師は授業のみならずあらゆる機会を通して人権尊重を意識しながら指導にあたり, 教師の言葉遣い等にも十分に気を配った。生徒は, 常に互いに認め合い, 他者を思いやる態度で学校生活を送ることができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(3) 人間尊重・福祉の心を大切にしたい人権・福祉教育の推進
主 要 事 業	② 福祉・ボランティア活動の奨励と実践化に向けた啓発の推進
具体的取組計画等 ・計画委員会や福祉委員会の計画によるあいさつ運動や募金活動, アルミプルタブ回収運動等に取り組む。(色小) ・毎週水曜日, 朝の「あいさつ運動」には, 各地区の協力をもらいながら, 実践を進める。(清小) ・各種募金活動, 花の水やり, 除草や清掃等の奉仕活動等に進んで取り組むことができるようにする。(清小) ・各種募金活動や花の水やり, アルミ缶・ベルマーク回収に取り組む。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・あいさつの励行や募金活動は委員会を中心に活発に行った。また, 長年取り組んできたプルタブ回収運動は閉校のため今年度で終了したが, 車いす一台にかえることができた。(色小) ・毎週水曜日, 朝の「あいさつ運動」には, 各地区の協力をもらいながら, 実践を進めた。(清小) ・各種募金活動, 花の水やり, 除草や清掃等の奉仕活動等に進んで取り組むことができた。(清小) ・赤い羽根募金活動やベルマーク回収をはじめ, あいさつ運動, 福祉体験, 命の授業等により, 福祉・ボランティア活動の奨励と実践化が図られた。(色中)	

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(3) 人間尊重・福祉の心を大切にしたい人権・福祉教育の推進
主 要 事 業	③ 家庭や地域と連携した人権・福祉活動の充実
具体的取組計画等 ・福祉施設の見学や福祉体験などを通し, 人権や福祉事業について考えを深める機会を設ける。(色小) ・学校支援ボランティアや世代間交流等の特色を生かした活動のより一層の充実を図っていく。(清小) ・地域の独居老人や老人福祉施設等の訪問と交流を通して, 福祉の実態を知り充実の在り方について考えさせる。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・中学年を中心に町内の福祉施設の見学や体験を行うことができた。また, 4年生では社会福祉協議会の協力で福祉学習が実施でき, 人権や福祉について考える貴重な機会となった。(色小) ・学校支援ボランティアや世代間交流等の特色を生かした活動のより一層の充実を図ることができた。(清小) ・町社会福祉施設や幼稚園の協力を得て, 高齢者との交流活動及び保育体験を行い, 思いやりの心を育むことができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(4) 図書の充実と活用の促進を図る図書館教育の推進
主 要 事 業	① 図書の整備・充実と読書に対する意欲を高める指導の充実
具体的取組計画等 ・担当教諭や教員補助員の指導のもと, 図書委員会の活動を充実させ, 新刊図書やたよりの発行, 多読賞の表彰などを行う。(色小) ・図書委員会の活動を日常化させ, 本に親しませるような活動を実施していく。(清小) ・「図書館だより」の発行, 「図書館まつり」の実施, 「多読賞の表彰」等, 今年度も積極的に推進する。(清小) ・朝の読書活動を継続するとともに, 図書利用の増加を図るために, 広報・図書委員会活動を活発化する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・図書委員会の活躍でたよりの発行や多読賞の表彰などを行うことができた。ただし, 色麻学園への図書移動のため, 貸出する本の制限をせざるを得なかった。(色小) ・図書委員会の活動を日常化させ, 本に親しませるような活動を実施することができた。(清小) ・「図書館だより」の発行, 「図書館まつり」の実施, 「多読賞の表彰」等, 今年度も積極的に推進することができた。(清小) ・閉校・統合開校に向けて, 図書の整理や移動, バーコードの設置などを行うことができた。(清小) ・朝の読書活動を継続することができた。校舎改修に伴い, 図書館利用を推進できなかった。次年度は新図書館の有効活用を通し, 読書に対する意欲を高める指導の充実を図る。(色中)	

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(4) 図書の充実と活用の促進を図る図書館教育の推進
主 要 事 業	② 図書の積極的利用を促す指導の展開
具体的取組計画等 ・朝読書の推進や調べ学習による図書の活用など, 図書を積極的に利用する指導に努める。(色小) ・図書委員会の活動を日常化させ, 本に親しませるような活動を実施していく。(清小) ・「図書館だより」の発行, 「図書館まつり」の実施, 「多読賞の表彰」等, 今年度も積極的に推進する。(清小) ・生徒が興味・関心を持つ図書を整備するために, 購入図書を選定する際に, 生徒及び教師のアンケートや業者からの助言を受け, 購入を決定する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・朝読書は定着し少しずつ図書室の積極利用につながっている。ただし, 図書室が調べ学習に対応できるまで整備されていないので, 利用は専ら読書の活動が主であった。(色小) ・図書委員会の活動を日常化させ, 本に親しませるような活動を実施することができた。(清小) ・「図書館だより」の発行, 「図書館まつり」の実施, 「多読賞の表彰」等, 今年度も積極的に推進した。(清小) ・生徒が興味・関心を持つ図書を整備するために, 購入図書を選定する際に, 生徒や教師の声を参考にして書籍購入した。次年度は図書担当教員と町図書司書との連携を深め, 図書の積極的利用を促す指導を行っていく。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(4) 図書の充実と活用の促進を図る図書館教育の推進
主 要 事 業	③ 地域に開かれた図書館づくりの推進
具体的取組計画等 ・図書支援ボランティアや読み聞かせボランティアなど地域の人々が関われる図書館づくりを目指す。(色小) ・読書に関する啓発と意欲付けのため, 図書室だよりの発行等に努める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	② やや不十分
評価及び改善策 ・図書支援ボランティアを活用する機会はなかったが, 1年生で中新田図書館の童話の会による「お話を聞く会」を開催することができた。(色小) ・図書室だよりの発行に至らなかった。次年度は学校図書館が町民にも開放されることから, 町社会教育課との連携を深め, 地域に開かれた図書館づくりの推進を図る。(色中)	

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(5) 郷土理解に基づいたふるさと教育の推進
主 要 事 業	① 郷土や地域を理解するための体験的活動の充実
具体的取組計画等 ・「あたごタイム」に, 3年生は「発見, 色麻のよいところ」, 4年生は「みんなにやさしいまち色麻」, 5年生は「ぼくら色麻の米づくり隊」, 6年生は「ふるさと色麻再発見」を実施し, 地域理解を深める。(色小) ・生活科では, 清水地区コミュニティーセンターの世代間交流を活用し, 郷土に伝わる遊びや料理などに取り組む。(清小) ・清水タイムでは, 自然, 文化, 生活環境, 食文化, 産業, 福祉など, 学年ごとに計画的に取り組む。(清小) ・神楽や太鼓など郷土に伝わる伝統芸能に親しむ。(清小) ・福祉体験学習, 職場体験学習時の, 町の人々との触れ合いから, ふるさと色麻のよさを体感させる。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・中高学年は総合的な学習の時間で, 地域を理解する体験的学習を行い, それぞれ大きな成果を上げることができた。低学年では花川の探検, 散策等で地域理解の一助とすることができた。(色小) ・生活科では, 清水地区コミュニティーセンターの世代間交流を活用し, 郷土に伝わる遊びや料理などに取り組むことができた。(清小) ・清水タイムでは, 自然, 文化, 生活環境, 食文化, 産業, 福祉など, 学年ごとに計画的に取り組むことができた。(清小) ・神楽や太鼓など郷土に伝わる伝統芸能に親しむことについては, 課題を残した。(清小) ・福祉体験学習, 職場体験学習や地域の人材を講師に迎えた授業の実施など, 地域のよさを体感させることができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(5) 郷土理解に基づいたふるさと教育の推進
主 要 事 業	② 郷土の文化や産業に関する教科横断的学習の推進
具体的取組計画等 ・町探検, かつば太鼓, 米づくり, 史跡見学など, 色麻の文化や産業に関わる学習を推進する。(色小) ・保野川から自然の豊かさ, 田畑や農耕地から生産体験, 果樹園やファームなど産業, 神楽や太鼓・遺跡などから歴史と伝統文化などに触れ, 教科横断的な学習を推進していく。(清小) ・色麻学について, 地域素材の教材化を進め, 系統化した指導計画を整備する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・生活科や総合的な学習の時間の中で, 色麻の文化や産業に係る学習を, それぞれの学年で進める事ができた。(色小) ・保野川から自然の豊かさ, 田畑や農耕地から生産体験, 果樹園やファームなど産業, 神楽や太鼓・遺跡などから歴史と伝統文化などに触れ, 教科横断的な学習を推進することができた。(清小) ・色麻学については, まだ系統化されておらず, 教師個々が各教科でおのおの, 地域素材を扱っているのが現状である。(色中)	

教 育 の 重 点	13 各教科, 道徳, 特別活動の時間との連携を図った指導計画の作成
具 体 的 施 策	(5) 郷土理解に基づいたふるさと教育の推進
主 要 事 業	③ 地域素材の教材化と地域の人材活用の推進
具体的取組計画等 ・花川や町内の史跡, 伝習館などの教材化と学習支援ボランティアの活用を図る。(色小) ・すぐれた地域人材を, 積極的に活用する。(清小) ・公民館(協働教育推進)との連携を, なお一層深めていく。(清小) ・これまでに協力してもらっている人々に加え, 新たなボランティアの活用の可能性を探る。(清小) ・民謡保存会の協力により, 音楽の授業で民謡を学ぶ機会を設定し, 生徒が地域の文化を理解する有意義な機会とする。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・学習支援ボランティアを活用し, 花川や町探検などの校外学習を実施することができた。また, 3年生と6年生では公民館の協力を得て町内の史跡や伝習館など教材とした学習を行うことができた。(色小) ・すぐれた地域人材を, 積極的に活用することができた。(清小) ・公民館(協働教育推進)との連携を, なお一層深めた。(清小) ・これまで多くの方に協力してもらってきたことから, 新たなボランティアの活用については, 必要がなかった。(清小) ・民謡保存会の協力により, 音楽の授業で民謡を学ぶ機会を設定し, 生徒が地域の文化を理解する有意義な機会となった。今後も継続していく。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	14 教職員の資質向上と福利厚生の実施
具 体 的 施 策	(1) 教職員の研修の充実と実践的研究の奨励
主 要 事 業	① 専門職としての意識の高揚と研修機会の充実
具体的取組計画等 ・校内研究テーマに基づいた組織づくりと役割分担を行い、PDCAサイクルにより検討と改善に努める。また、各種研修会への参加と研修内容の報告会を実施して、研修の機会の充実に努める。(色小) ・校内研究テーマに基づいた組織づくりと役割分担。PDCAサイクルに基づいた検討と改善を、より一層推進する。(清小) ・各種研修会参加と研修内容の報告会の実施。先進研究校等への研修参加を充実させる。(清小) ・各種研修会参加と研修内容の報告会を実施する。また、先進研究校の職員を校内研修へ招聘したり研修センター等の協力を得ながら充実した研修会となるように努める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・研究主任を中心に研究推進委員会の計画で充実した校内研究を推進することができた。また、職員の研修意欲が高まり各種研修会への希望も例年より増えた。(色小) ・校内研究テーマに基づいた組織づくりと役割分担、PDCAサイクルに基づいた検討と改善を、より一層推進することができた。(清小) ・各種研修会参加と研修内容の報告会の実施に努めた。先進研究校等への研修参加を充実させることもできた。(清小) ・校内研究に基づいた組織づくりと役割分担、PDCAサイクルに基づいた検討と改善、各種研修会参加と研修内容の報告会の実施などを行った。(色中)	

教 育 の 重 点	14 教職員の資質向上と福利厚生の実施
具 体 的 施 策	(1) 教職員の研修の充実と実践的研究の奨励
主 要 事 業	② 校内研究体制の確立と研究・研修内容の充実
具体的取組計画等 ・研究主任と研究推進委員会を中心に研究体制を整える。また、町と学校との共同研究を推進し、研究・研修の充実を図る。(色小) ・平成25年度が校内研究主題に向けての2年目であり、清水小学校としての最終年度となることから、しっかりと成果が得られるように研究と実践を進める。(清小) ・研究主任を中心として、すべての担任が1年間に1度は授業研究会で授業を提供し、学校全体として授業力向上を目指す。(清小) ・校内研究推進委員会を立ち上げ、研究主任を中心に校内研究を進める。授業研究会を通して、教師間に校内研究への参画意識をより高める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・研究主任のリーダーシップのもと組織的な研究体制を整えることができた。低・中・高学年部、特別支援部がそれぞれチームとして研究及び研修を進めることができた。(色小) ・平成25年度が校内研究主題に向けての2年目であり、清水小学校としての最終年度となることから、しっかりと成果が得られるように研究と実践を進めることができた。(清小) ・研究主任を中心として、すべての担任が1年間に1度は授業研究会で授業を提供し、学校全体として授業力向上を目指すことができた。校内研究の充実に努め、「まとめ」の作成を終えることができた。(清小) ・研究主任を中心に校内研究の充実を図ることができた。授業研究ごとに、ワークショップ型の授業検討会を行うことで、教師間に校内研究への参画意識が非常に高まった。(色中) ※ワークショップとは・・・学びや創造、問題解決やトレーニングの手法であり、参加者が自発的に作業や発言をおこなえる環境が整った場において、ファシリテーターと呼ばれる司会進行役を中心に、参加者全員が体験するものとして運営される形態。	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	14 教職員の資質向上と福利厚生の実施
具 体 的 施 策	(1) 教職員の研修の充実と実践的研究の奨励
主 要 事 業	③ 各職責や分掌に即した個人研究の奨励とその実践化
具体的取組計画等 ・教職員一人一人の担当や立場、分掌などに即した、個人研究の奨励とその実践化を図る。(色小) ・それぞれの担当や立場、分掌に即した個人研究の奨励とその実践化を図る。(清小) ・それぞれの担当や立場、分掌に即した個人研究の奨励とその実践化を図る。(色中)	
達 成 度 の 評 価	② やや不十分
評価及び改善策 ・分掌に即した個人研究については、それぞれで取り組み実践したが、紙面等で成果を発表するまでには至らなかった。(色小) ・それぞれの担当や立場、分掌に即した個人研究の奨励とその実践化を図ることができた。全校で実践を進めた「志教育」の推進や、「防災タイム」(業前時間に年間を通して実践)について、事務所への報告書にまとめたり、大崎管内研究論文にまとめ入選するなど、目標達成に努めた。(清小) ・各職責や分掌に即した実践において、工夫を図り実践しているが、校内研究テーマに基づいた共同研究が主となっており、個人研究の段階までは至っていない。(色中)	

教 育 の 重 点	14 教職員の資質向上と福利厚生の実施
具 体 的 施 策	(1) 教職員の研修の充実と実践的研究の奨励
主 要 事 業	④ 幼稚園及び小・中学校教職員の連携による研修の充実
具体的取組計画等 ・学習や保育、学校・園行事などを通して、幼・保・小・中学校教職員相互の連携の充実をはかる。(色小) ・学校行事などを通して、幼・小・中学校教職員相互の連携の充実を図る。(清小) ・平成23・24年度の「幼保小連携推進」の成果を生かし、さらに実践が深められるようにする。(清小) ・学校行事などを通して、幼・小・中学校教職員相互の連携の充実を図る。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・児童や園児の交流する機会が増えたり、学校行事や園行事でそれぞれの職員と一緒に活動する機会も増し、より連携が深まった。(色小) ・学校行事などを通して、幼・小・中学校教職員相互の連携の充実を図ることができた。幼稚園の園児が小学校の授業を参観したり、「焼いも大会」など共通行事を実践したりすることができた。幼小交流を深めることができた。(清小) ・平成23・24年度の「幼保小連携推進」の成果を生かし、さらに実践を深めることができた。(清小) ・小中一貫校開校に向け、中学校行事への小6児童及び小学校職員が参加する交流活動を行った。また、中学校教員が小学校に出向いての、交流授業を保育、音楽で実施した。昨年に引き続き、町内3校教員の合同研修会を夏休みに実施することができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	14 教職員の資質向上と福利厚生の実施
具 体 的 施 策	(2) 教職員の服務規律遵守の徹底
主 要 事 業	① 教育公務員としての自覚と規律の遵守
具体的取組計画等 ・定例の職員会議や打ち合わせをはじめ色々な機会を通し、教育公務員としての自覚と服務規律の遵守の徹底を図る。(色小) ・職員会議、定例の打ち合わせ等を活用したり、常日ごろから折に触れて、教育公務員としての自覚と規律の遵守の徹底を図る。(清小) ・「生徒に説明できないことは絶対にしない」をスローガンに、教職員の自覚と規律の徹底を図る。また、諸会議・打ち合わせ時に、管理職から職員へ声がけを欠かさない。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・会議や打ち合わせ、様々な機会を捉え教育公務員としての自覚と服務規律の遵守の徹底を繰り返し呼びかけた。(色小) ・職員会議、定例の打ち合わせ等を活用したり、常日ごろから折に触れて、教育公務員としての自覚と規律の遵守の徹底を図ることができた。(清小) ・「生徒に説明できないことは絶対にしない」をスローガンに、教職員の自覚と規律の徹底を図った。また、諸会議・打ち合わせ時に、管理職から教職員へ声がけを欠かさなかった。(色中)	

教 育 の 重 点	14 教職員の資質向上と福利厚生の実施
具 体 的 施 策	(2) 教職員の服務規律遵守の徹底
主 要 事 業	② 職務遂行における危機管理意識の高揚
具体的取組計画等 ・万が一の事故発生時の対応に関する研修を行い、危機管理意識の高揚に努める。(色小) ・何でも言える職場づくりを目指す。情報交換が密で、風通しのよい職場づくりに努める。(清小) ・公務員としての服務規律について、常日頃から職員に周知・徹底させる。(清小) ・万が一の事故発生時の対応について、事例を参考に考えさせ、意識付けを行う。(清小) ・防災マニュアルどおり、職員が行動できるよう確認を欠かさずに行う。また、生徒へのリスクマネジメントに関する内容を指導する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・避難訓練や不審者対応訓練は教職員の訓練であると捉え、重要な研修の場とした。また、救急救命法の研修は毎年全員参加で実施している。(色小) ・何でも言える職場づくりを、職員全員の共通理解・共通行動のもとで目指すことができた。情報交換が密で、風通しのよい職場づくりに努めた。(清小) ・公務員としての服務規律について、常日頃から職員に周知・徹底させることができた。職員・児童両方で、「事故発生」が1件もなかった。(清小) ・万が一の事故発生時の対応について、事例を参考に考えさせ、意識付けを行うことができた。(清小) ・校舎改修に伴い使用できない廊下や出入り口を随時確認するとともに、変更がある度に避難経路の確認を行うなど、防災マニュアルに記載された行動ができるようにした。また、生徒へのリスクマネジメントに関する内容を学級活動や集会等で指導した。(色中) ※リスクマネジメントとは・・・様々な危険や損失を最も効率よく回避しようとする手法である。	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	14 教職員の資質向上と福利厚生の実施
具 体 的 施 策	(2) 教職員の服務規律遵守の徹底
主 要 事 業	③ 児童・生徒や保護者及び地域との信頼関係の確立
具体的取組計画等 ・学校だよりや学年・学級だよりなどで学校の状況を知らせたり、連絡帳や保護者会を通して信頼関係を築く。(色小) ・「学校だより」を地区内全戸配布することを通して、積極的に学校の様子を知らせていく。また、各種行事等に積極的に参加を呼び掛け、学校の教育活動を知ってもらう努力を続ける。(清小) ・連絡帳や電話連絡、保護者会等を通して、情報交換を密に行い、信頼を築いていく。(清小) ・メールによる連絡網を整備し、情報提供に努める。(清小) ・学校だよりを区長を通して、全戸に配布し、学校からの情報発信に努める。また、保護者アンケート、「学校の教育活動は満足できる」という問いに対して90%の保護者から肯定的な回答を得ることを目標に教育活動にあたる。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・連絡帳や電話での対応を迅速丁寧に行い、常に保護者や地域との信頼関係の確立に努めた。また、各種たよりは情報発信の貴重な手段であると捉え積極的な活用を図った。(色小) ・「学校だより」を地区内全戸配布することを通して、積極的に学校の様子を知らせることができた。また、各種行事等に積極的に参加を呼び掛け、学校の教育活動を知ってもらう努力を続けることができた。各区長には、多大なる力添えをもらった。(清小) ・連絡帳や電話連絡、保護者会等を通して、情報交換を密に行った結果、信頼を築いていくことができた。(清小) ・メールによる連絡網を整備し、情報提供に努めた。(清小) ・学校だよりを区長を通して、全戸に配布し、学校からの情報発信に努めた。また、保護者アンケート、「学校の教育活動は満足できる」という問いに対して91.8%の保護者から肯定的な回答を得ることができた。(色中)	

教 育 の 重 点	14 教職員の資質向上と福利厚生の実施
具 体 的 施 策	(3) 教職員の服務規律遵守の徹底
主 要 事 業	① 職員の心身の状態の的確な把握と適切なケアの推進
具体的取組計画等 ・日常の観察や保健主事・養護教諭からの情報をもとに、職員一人一人の健康状態を把握し、健康増進や病状から回復できるよう適切な手立てを講じる。(色小) ・日常観察や養護教諭の情報等を通して、職員の健康状態を把握し、健康増進に努めるようにする。(清小) ・日ごろから職員同士のコミュニケーションを深め、心身ともに健全な勤務ができるようにする。(清小) ・日頃から、職員間・職員と管理職間での会話を通して、心身の状況把握に努める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・日常的なコミュニケーションを大切に教職員一人一人の健康状態把握に努めた。大きな問題には発展していないが、課題に対する適切なケアができないこともあった。(色小) ・日常観察や養護教諭の情報等を通して、職員の健康状態を把握し、健康増進に努めた。(清小) ・日ごろから職員同士のコミュニケーションを深め、心身ともに健全な勤務ができるようにするよう、職員全員が心掛け、実践することができた。(清小) ・日頃から、職員間及び職員と管理職間での会話を通して、心身の状況把握に努めた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	14 教職員の資質向上と福利厚生の実施
具 体 的 施 策	(3) 教職員の服務規律遵守の徹底
主 要 事 業	② 各種休暇の有効利用の促進
具体的取組計画等 ・年次休暇やリフレッシュ休暇など、各種休暇の有効利用を勧める。(色小) ・各種休暇の有効利用を勧める。(清小) ・「勤務時間調査」を、確実に実施することを通して、毎月の勤務状況を的確に把握する。必要に応じて「健康相談」を勧めたり、効率的な勤務の推進について指導助言を行う。(清小) ・年休の計画的な消化について、管理職からの声かけを欠かさずに行う。今後、健康の保持・増進のためにも、その方策を検討する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・計画的な年次有給休暇の有効利用を勧めることができなかった。(色小) ・各種休暇の有効利用を勧めるように努めた。(清小) ・「勤務時間調査」を、確実に実施することを通して、毎月の勤務状況を的確に把握した。必要に応じて「健康相談」を勧めたり、効率的な勤務の推進について指導助言を行った。(清小) ・必要に応じた年次休暇の有効活用が図られた。(色中)	

教 育 の 重 点	14 教職員の資質向上と福利厚生の実施
具 体 的 施 策	(3) 教職員の服務規律遵守の徹底
主 要 事 業	③ 各職場単位及び職場相互の福利厚生活動の推進
具体的取組計画等 ・教職員相互の健康維持・増進に向けて、種々の福利厚生活動を実施する。(色小) ・明るく健康的な職場づくりと健康増進・福利厚生の実施を目指し、コミュニケーションを深めたり、職員全員で楽しめるレクリエーション活動を実施する。(清小) ・職員の福利厚生のために、学校独自で研修会を行うように努める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	② やや不十分
評価及び改善策 ・健康維持・増進活動は単発的で、計画的・継続的な福利厚生活動を実施することができなかった。(色小) ・明るく健康的な職場づくりと健康増進・福利厚生の実施を目指し、コミュニケーションを深めたり、職員全員で楽しめるレクリエーション活動を実施した。(清小) ・福利厚生活動について、職場内での実施はできたが、他校との共同実施はできなかった。(色小) ・計画通りに内容を推進することができなかった。(清小) ・職員の福利厚生のために、学校独自の研修会を行うことはできなかった。次年度は小中教職員の交流会等、福利厚生の実施を図っていきたい。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	15 安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進
具 体 的 施 策	(1) 学校環境の安全確保と整備・充実
主 要 事 業	① 学校周辺や通学路の安全点検と施設設備の定期点検・整備
具体的取組計画等 ・月2回の街頭指導を実施し、通学路における危険箇所を把握する。また、月1回の安全点検日に全職員で点検し、不備な点については速やかに対応する。(色小) ・毎月1日を「安全の日」として設定し、安全点検表に基づいて安全点検を実施する。(清小) ・毎月1日・15日を「街頭指導の日」として設定し、あいさつの励行を呼び掛けたり、安全な登校を見守り、必要に応じて指導・声掛けを行う。(清小) ・4月の「通学地区実地踏査」、夏休みの「危険箇所点検」等を通し、学校周辺や通学路の安全点検に努める。(清小) ・「あいさつ運動」に参加した地区の人々から情報を得る。(清小) ・PTAの協力を得て、通学路及び地区の危険箇所の点検を行い、対処が必要な場所には赤旗を設置し、注意を喚起する。また、地区ごとの生徒の集会時に、生徒から危険箇所を挙げさせ、生徒の目線による危険箇所を把握する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・学校周辺や通学路の安全点検は、PTAの協力も得て実施した。また、スクールバスにも職員が何度か乗車して安全を確認した。(色小) ・施設設備の定期点検を確実にし、不備については迅速に対応した。(色小) ・毎月1日を「安全の日」として設定し、安全点検表に基づいて安全点検を実施することができた。(清小) ・毎月1日・15日を「街頭指導の日」として設定し、あいさつの励行を呼び掛けたり、安全な登校を見守り、必要に応じて指導・声掛けを行ってきた。(清小) ・4月の「通学地区実地踏査」、夏休みの「危険箇所点検」等を通し、学校周辺や通学路の安全点検に努めることができた。(清小) ・「あいさつ運動」に参加した地区の人々から情報を得て、改善に結び付けることができた。(清小) ・PTAの協力を得て、通学路及び地区の危険箇所の点検を行い、対処が必要な場所には赤旗を設置し、注意を喚起することができた。また、地区ごとの生徒の集会時に、生徒から危険箇所を挙げさせ、生徒の目線による危険箇所を把握した。(色中)	

教 育 の 重 点	15 安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進
具 体 的 施 策	(1) 学校環境の安全確保と整備・充実
主 要 事 業	② 施設・設備・植栽の管理・保全と安全指導の徹底
具体的取組計画等 ・教職員による安全点検を行ったり保護者の協力のもとに通学路や地域の危険箇所を把握したり、学校内外の安全確保に努める。(色小) ・日常的な校舎内外の安全点検、月に1回のきめ細かな「安全点検」活動を推進する。(清小) ・月初めの施設の安全点検を確実にし、破損箇所を発見ししだい早急に修繕するなど対処する。また、日々校舎内外の確認も欠かさずに行う。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・職員による整備点検に加え、保護者の奉仕活動の協力を得て安全確保に努めた。(色小) ・日常的な校舎内外の安全点検、月に1回のきめ細かな「安全点検」活動を推進することができた。(清小) ・月初めに施設設備を全職員で分担して点検し、問題箇所には担当、教頭、事務、業務員で速やかに対応することができた。工事に伴う危険箇所の連絡等もしっかり行うことができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	15 安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進
具 体 的 施 策	(1) 学校環境の安全確保と整備・充実
主 要 事 業	③ 学校環境の美化及び緑化の推進
具体的取組計画等 ・学年花壇の運営，緑化委員会による草花栽培，ロータリーやプランターへの植栽活動を行う。(色小) ・自然災害による被害の把握に努めるとともに，環境整備を行う。(清小) ・学年花壇の経営，緑化委員会による草花栽培，「花いっぱい運動」による学校環境美化等に努める。(清小) ・親子奉仕作業を2回実施し，学校環境美化及び緑化に努める。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・ロータリーや花壇へは，学校支援ボランティアの協力を得て春と秋の2回植栽活動を行った。また，縦割り活動や緑化委員会の積極的な活動で校内美化や緑化を進めることができた。(色小) ・自然災害による被害の把握に努めるとともに，環境整備を行った。(清小) ・学年花壇の経営，緑化委員会による草花栽培，「花いっぱい運動」による学校環境美化等に努めることができた。(清小) ・校舎建設に伴う花壇の撤去により花いっぱい運動を実施することはできなかった。親子奉仕作業についても引越作業を依頼することとなり，従来の除草作業等は行えなかったが，日々の清掃活動や愛校作業により，例年通り学校環境美化に努めることができた。(色中)	

教 育 の 重 点	15 安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進
具 体 的 施 策	(1) 学校環境の安全確保と整備・充実
主 要 事 業	④ 学校教育関連施設及び給食用食材の放射線量の測定と児童・生徒の安全確保
具体的取組計画等 ・原則毎週月曜日に校地内の放射線量の測定を行い，児童の安全確保の目安とする。また，栽培活動で収穫するものについては，きちんと測定し安全基準以下であることを確認する。(色小) ・原則として，毎週月曜日に校地内の放射線量の測定を行う。(清小) ・毎週の放射線量測定を通して，常に危険な数値でないことを確認する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・年度途中から月1回の放射線量測定になったが確実に実施した。また，収穫したサツマイモ等は町に測定を依頼し安全基準以下であることを確認した。(色小) ・原則として，毎週月曜日に校地内の放射線量の測定を行った。町教委の指示を受けてからは，毎月15日の測定を欠かさず行い，報告することができた。(清小) ・月一回の測定を通し，危険な数値でないことを確認した。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	15 安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進
具 体 的 施 策	(2) 施設・設備の開放の促進
主 要 事 業	① 地域並びに社会教育・社会体育への積極的な開放の推進
具体的取組計画等 ・校庭や講堂その他の学校施設を積極的に貸与する。(色小) ・可能な限り学校施設開放に努め、各種団体への協力・連携を深める。(清小) ・スポーツ少年団や社会人野球、太鼓愛好会等の求めに応じ貸与する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・野球やバスケットボールのスポーツ少年団を中心に、年間を通じ貸与した。(色小) ・可能な限り学校施設開放に努め、各種団体〔清水子ども自転車、かさまつ少年野球、サッカー 他〕への協力・連携を深めることができた。(清小) ・校舎の新築及び改修に伴い、例年通りの講堂の貸与はできなかったが、可能な限り実施した。(色中)	

教 育 の 重 点	15 安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進
具 体 的 施 策	(2) 施設・設備の開放の促進
主 要 事 業	② 学校図書館の開放と県や町図書館との連携による活用の促進
具体的取組計画等 ・長期休業期間や要望に応じ学校図書館を開放する。また、外部の図書館と連携を図った活動を積極的に行う。(色小) ・学校図書館ボランティアの協力を得て、図書の整備を行い、使いやすい環境を整える。(色中)	
達 成 度 の 評 価	② やや不十分
評価及び改善策 ・一般からの学校図書館開放の要望はなかった。また、県図書館や町図書館との連携を図った図書整備に関する教職員の研修を行うにとどまった。(色小) ・改修工事のため学校図書館の充実を図ることはできなかった。次年度の学校図書館利用に向けた準備については、小学校・社会教育課と連携を図り進めることができた。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	15 安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進
具 体 的 施 策	(3) 教材・教具の整備・充実と活用の促進
主 要 事 業	① 教材・教具・備品の点検・整備・活用
具体的取組計画等 ・常に教材・教具・備品の整理を心がけ、学期毎に台帳の整備を実施する。また、購入や廃棄についても計画的に行う。(色小) ・1学期末に、備品台帳をもとに、備品整理を行う。(清小) ・平成26年度からの学校統合を踏まえ、使用可能物品、不可能で処分が必要な物品等の仕分けを行っていく。(清小) ・適正な備品購入を進められるように、予算の執行状況を適切に把握する。(清小) ・夏休み期間中に、教科部会ごとに教科備品等について点検・整理する。教科部会等で作成した購入計画を担当が集約して検討し調整の後、町に要望する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・今年度は閉校の年であったため、台帳の整備を的確に実施することができた。特に廃棄については計画的に行うことができた。(色小) ・1学期末に、備品台帳をもとに、備品整理を行った。(清小) ・平成26年度からの学校統合を踏まえ、使用可能物品、不可能で処分が必要な物品等の仕分けを行った。必要な物品について、計画的に移動事務を果たすことができた。(清小) ・適正な備品購入を進められるように、予算の執行状況を適切に把握することができた。(清小) ・各分掌で確実に点検・整備を行い、備品台帳をもとに廃棄等を行った。また、予算の範囲内で、各教科・領域からの希望を優先順位をつけ、生徒の教育活動に必要な備品を整備した。(色中)	

教 育 の 重 点	15 安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進
具 体 的 施 策	(3) 教材・教具の整備・充実と活用の促進
主 要 事 業	② コンピュータや視聴覚機器等の効果的活用の推進
具体的取組計画等 ・校内研修や校内授業研究会などにおいて、コンピュータや視聴覚機器などを効果的に活用する機会を持つ。(色小) ・夏休み等の校内研修や年次計画の校内授業研究等において、視聴覚機器やコンピュータの効果的な活用について積極的な取り組みを行い、互いに学び合うとともに、その効果等についても検証する。(色中)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・大型テレビと教材提示装置は普段の授業でも大いに活用された。コンピュータについてはさらに効果的な活用を図っていく必要がある。(色小) ・学期ごとの校内研修や校内授業研究等において、視聴覚機器やコンピュータの効果的な活用について積極的な取り組みを行い、互いに学び合うとともに、その効果等についても検証することができた。(清小) ・視聴覚機器やコンピュータの効果的な活用について積極的に取り組む教員が増えている。しかし、活用の技能については個人差があることから、さらに技能を向上させる必要がある。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	15 安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進
具 体 的 施 策	(3) 教材・教具の整備・充実と活用の促進
主 要 事 業	③ 民俗文化財等の保護・管理と効果的活用
具体的取組計画等 ・郷土資料室は定期的に点検・整備を行い, 活用している教材・教具は保守点検を確実に行う。(色小) ・教材・教具の活用について職員研修を行う。(清小) ・日常的に共通して使用する備品等は, 職員室や放送室に保管し, 活用しやすくする。(色中)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・閉校に伴い郷土資料室の教材・教具を屋上階段踊り場に移動したが, 稲作で使う道具や昔のアイロン, 竹スキーを教材として活用することができた。(色小) ・教材・教具の活用について職員研修を行った。(清小) ・教材・教具の活用について職員研修を行うとともに日常の整理・整頓を今後も継続して行う。(色中)	

幼 稚 園 教 育

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	16 教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営
具 体 的 施 策	(1) 創意と活力に満ちた園の経営
主 要 事 業	① 幼児・家庭・地域社会の実態を踏まえた創意ある教育課程の編成と実施
具体的取組計画等 ・幼児の発達課題を踏まえ、2年間で8期に分けた創意ある教育課程のもと保育活動を実施する。(色幼) ・幼児の発達課題を踏まえ、関係諸機関との一層の連携を図る。(清幼) ・保育参観及び園行事への積極的な参加を呼び掛け、幼児教育の共通理解を図る。(清幼) ・コミセンと連携をとり、昔遊びなどを通して一層の世代間交流の促進を図る。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・年少児4歳、年長児5歳それぞれの実態に応じ、各種行事、お楽しみ会、おたんじょう会等工夫した保育活動を実施することができた。(色幼) ・幼児の発達課題を踏まえ、関係諸機関との一層の連携を図ることができた。(清幼) ・保育参観及び園行事への積極的な参加を呼び掛け、幼児教育の共通理解を図ることができた。(清幼) ・コミセンと連携を取り、昔遊びなどを通して一層の世代間交流の促進を図ることができた。(清幼)	

教 育 の 重 点	16 教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営
具 体 的 施 策	(1) 創意と活力に満ちた園の経営
主 要 事 業	② 職員の協働体制の確立と実践の評価をもとにした園教育の充実・向上
具体的取組計画等 ・職員の組織・分掌を整え協働体制を確立するとともに、園評価を実施し改善策を講じる。(色幼) ・年長の担任が、1年生の担任と連絡を密に取り合い、4月中は小学校の担任と指導計画を作成する。年長の3学期についても、1年生の担任と連絡を取り合い、小学校教諭とともに年長との交流計画を作成する。(清幼) ・「保護者による園評価」を実施し、前年度の課題を解決する。幼稚園統合に向け、よりよい保育内容の策定にあたる。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・担任2名、補助員、事務補各1名の4名体制であるが、それぞれの役割分担を整え協働して日々の保育活動にあたった。学期ごとに園評価を実施し、改善策を話し合った。(色幼) ・年長の担任が、1年生の担任と連絡を密に取り合い、4月中は小学校の担任と指導計画を作成することができた。また、年長の3学期についても、小学校1年生の担任と連絡を取り合い、小学校教諭とともに年長との交流計画を作成することができた。(清幼) ・「保護者による園評価」を実施し、前年度の課題を解決するように努めた。幼稚園統合に向け、よりよい保育内容の策定にあたることができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	16 教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営
具 体 的 施 策	(1) 創意と活力に満ちた園の経営
主 要 事 業	③ 地域に開かれた信頼される園経営の実践
具体的取組計画等 ・園だよりや父母の会だよりで情報発信し、地域の理解と協力を得たり、入園式や運動会、おゆうぎ会等に地域の人々を招待する。(色幼) ・幼児の発達課題を踏まえ、関係諸機関との一層の連携を図る。(清幼) ・保育参観及び園行事への積極的な参加を呼び掛け、幼児教育の共通理解を図る。(清幼) ・コミセンと連携をとり、昔遊びなどを通して一層の世代間交流の促進を図る。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・各たよりは定期的に発信することができ、情報を保護者や地域の人々に伝えることができた。また、運動会やおゆうぎ会には多くの人に参観してもらった。(色幼) ・幼児の発達課題を踏まえ、関係諸機関との一層の連携を図ることができた。(清幼) ・保育参観及び園行事への積極的な参加を呼び掛け、幼児教育の共通理解を図るように努めた。(清幼) ・コミセンと連携を取り、昔遊びなどを通して一層の世代間交流の促進を図ることができた。(清幼)	

教 育 の 重 点	17 幼児の発達の特性を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善
具 体 的 施 策	(1) 創意と工夫に満ちた教育課程の編成と実施・評価・改善
主 要 事 業	① 適切な環境の構成と計画的な評価・改善
具体的取組計画等 ・園評価を行い、経営や研究についてPDCAサイクルを確立する。(色幼) ・園経営の評価計画を立案し、園研究とも合わせてPDCAのサイクルを確立する。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・学期ごとに園評価を行い、より適切な保育活動、行事の在り方などを考える機会となった。(色幼) ・園経営の評価計画を立案し、園研究とも合わせてPDCAのサイクルを確立することができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	17 幼児の発達の特徴を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善
具 体 的 施 策	(1) 創意と工夫に満ちた教育課程の編成と実施・評価・改善
主 要 事 業	② 具体的なねらいや内容を明確にした指導計画の作成
具体的取組計画等 ・教育目標の達成を目指し、幼児や家庭、地域の実態に応じた指導計画を作成する。(色幼) ・教育目標の達成を目指し、各年齢を5期に分けた指導計画の有効性を検証し、修正を加えながら改善する。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・一人一人の幼児や家庭の実態に応じた弾力的な指導計画を作成し、教育目標の達成に努めた。(色幼) ・園の保育目標の達成を目指し、各年齢を5期に分けた指導計画の有効性を検証し、修正を加えながら改善していくことができた。(清幼)	

教 育 の 重 点	17 幼児の発達の特徴を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善
具 体 的 施 策	(1) 創意と工夫に満ちた教育課程の編成と実施・評価・改善
主 要 事 業	③ 必要性和教育的価値に裏付けされた行事の設定
具体的取組計画等 ・運動会やおゆうぎ会、栽培活動、公民館との共同行事、親子レクリエーション・体育遊びなどを実施する。(色幼) ・畑での栽培活動、公民館とタイアップした行事の企画、親子レクリエーション、親子体育遊び等を実施する。(清幼) ・テーマ性を持たせた運動会や、創作劇への取り組みによる発表会を通して、それぞれの発達に応じた行事の計画を実施する。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・運動会やおゆうぎ会、サツマイモの栽培、移動図書館、お楽しみ会、おたんじょう会、キッズプログラムなど、それぞれ目的に応じ工夫した活動を行うことができた。(色幼) ・畑での栽培活動、公民館とタイアップした行事の企画、親子レクリエーション、親子体育遊び等を実施することができた。大変充実した内容で終わることができた。(清幼) ・テーマ性を持たせた運動会や、創作劇への取り組みによる発表会を通して、それぞれの発達に応じた行事の計画を行うことができた。保護者からも、大変に高い評価を得ることができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	17 幼児の発達の特徴を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善
具 体 的 施 策	(1) 創意と工夫に満ちた教育課程の編成と実施・評価・改善
主 要 事 業	④ 幼児の思いと教師の意図の融合の推進
具体的取組計画等 ・幼児の実態や家庭の意向を踏まえ、個々に合わせた保育活動を推進する。(色幼) ・家庭訪問や参観時の教育相談、保育所からの聞き取り、連絡帳等での情報交換を通して、個々に応じた支援を行っていく。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・個々の実態に応じ家庭の意向を踏まえながら、時には外部機関とも連携を図り保育にあたっている。(色幼) ・家庭訪問や参観時の教育相談、保育所からの聞き取り、連絡帳等での情報交換を通して、個々に応じた支援を行うことができた。(清幼)	

教 育 の 重 点	18 個々の特性に応じた指導の充実
具 体 的 施 策	(1) 個々の特性を踏まえた幼児期にふさわしい指導の充実
主 要 事 業	① 生きる力の基盤形成のための個に応じた指導の充実
具体的取組計画等 ・生活習慣のアンケート等を実施し、個々に必要な指導を行う。(色幼) ・きめ細かい観察を通して情報交換に努め、個に応じた、よりきめ細かな支援を行っていく。(清幼) ・担任・教員補助・小学校の兼務者との連携を一層深め、緊密な連携の中で、情報交換を行う。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・アンケートの結果や連絡帳での情報交換を通じ、個々に応じたきめ細やかな指導を行うことができた。(色幼) ・きめ細かい観察を通して情報交換に努め、個に応じた、よりきめ細かな支援を行うことができた。(清幼) ・担任・教員補助・小学校の兼務者の連携を一層深め、緊密な連携の中で、情報交換を行うように努め、それを果たすことができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	18 個々の特性に応じた指導の充実
具 体 的 施 策	(1) 個々の特性を踏まえた幼児期にふさわしい指導の充実
主 要 事 業	② 幼児期にふさわしい思考・態度・生活の基礎に関する学びの充実
具体的取組計画等 ・行事や保育活動で年少組と年長組の交流を持ちながら、成長に応じた保育活動を実施する。(色幼) ・行事等で、年少・年長の交流を持ちながら、成長に応じた保育活動を実施する。(清幼) ・幼・小のつなぎの学年の担任で協力しながら、幼児期にふさわしい思考・態度・生活の基礎に関する指導計画を策定する。幼小併設のよさを、一層活用していく。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・年少児と年長児の交流、保育所や小学生との交流、そして清水幼稚園との交流を持つことで、多くの学びの場を設定することができた。(色幼) ・行事等で、年少・年長の交流を持ちながら、成長に応じた保育活動を実施することができた。(清幼) ・幼・小のつなぎの学年の担任で協力しながら、幼児期にふさわしい思考・態度・生活の基礎に関する指導計画を策定することができた。幼小併設のよさを、一層活用していくように努めた。(清幼)	

教 育 の 重 点	18 個々の特性に応じた指導の充実
具 体 的 施 策	(1) 個々の特性を踏まえた幼児期にふさわしい指導の充実
主 要 事 業	③ 個々の主体的な活動の促進と豊かな体験のための指導の推進
具体的取組計画等 ・園庭での遊び、カッパ山でのそり滑り、夏のプールなど体験を中心にした活動を行う。(色幼) ・体験活動をより一層重視し、身体を通して感じ・考えていくことができるようにする。また、「ふれあい」を重んじ、異年齢・異世代間の交流を推進する。そのための行事の設定や指導法の改善を行う。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・園庭での遊具を使った遊びやボール遊び、カッパ山での遊び、畑での栽培活動など、個々の園児が身体を使って体験する活動を工夫することができた。(色幼) ・体験活動をより一層重視し、身体を通して感じ・考えていくことができるようになった。また、「ふれあい」を重んじ、異年齢・異世代間の交流を推進することもできた。そのための行事の設定や指導法の改善を進めた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	18 個々の特性に応じた指導の充実
具 体 的 施 策	(1) 個々の特性を踏まえた幼児期にふさわしい指導の充実
主 要 事 業	④ チーム保育の指導体制や活動形態の工夫
具体的取組計画等 ・年少組、年長組の担当が互いに補い合い、全職員体制で指導にあたる。(色幼) ・年少・年長の合同保育を計画的に実施し、異年齢とのかかわりを一層推進する。(清幼) ・常に職員の連携を大切にする。担任と教員補助、併設の小学校とも連携を密にし、様々な指導体制や活動形態を工夫していく。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・年少・年長の各担任と補助員、事務補助員の4名が、日々の保育はもちろん各種行事でも協力して指導にあたることができた。(色幼) ・年少・年長の合同保育を計画的に実施し、異年齢とのかかわりを一層推進することができた。(清幼) ・常に職員の連携を大切にしながら保育活動にあたることができた。担任と教員補助、併設の小学校とも連携を密に取り合うことができた。様々な指導体制や活動形態を工夫することができた。(清幼)	

教 育 の 重 点	18 個々の特性に応じた指導の充実
具 体 的 施 策	(1) 個々の特性を踏まえた幼児期にふさわしい指導の充実
主 要 事 業	⑤ 幼児期の道德性の芽生えを培う体験の積み重ねと適切な援助
具体的取組計画等 ・しゃくやく見学、栗拾い、りんご狩り、交通安全教室、栽培収穫活動等を通じ道德性の伸長を目指す。(色幼) ・様々な体験活動を通して、心を動かし、心を豊かにできるように指導・支援にあたる。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・様々な体験活動や見学、行事を通じ、幼児期の道德性の芽生えを培う保育を展開することができた。(色幼) ・様々な体験活動を通して、心を動かし、心を豊かにできるように指導・支援にあたることができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	19 発達段階を踏まえた幼・保・小の連携による学びの土台づくり
具 体 的 施 策	(1) 幼・保・小の交流・連携の充実
主 要 事 業	① 学びの連続性を踏まえた教育課程の工夫・改善と教師間の交流・連携の推進
具体的取組計画等 ・小学校生活の見学、学芸会の見学、できるようになったよ発表会の見学など、一緒に活動する機会を設け連携を深める。(色幼) ・年長の担任が、1年生の担任と連絡を密に取り合い、新学期4月中に、小学校の担任と指導計画を作成する。(清幼) ・年長の3学期についても、1年生担任と連絡を取り合い、交流に向けた計画を作成・実施していく。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・幼少の連携について年間計画を作成し、学芸会、おゆうぎ会、できるようになったよ発表会などで交流を持つことできた。(色幼) ・年長の担任が、1年生の担任と連絡を密に取り合い、新学期4月中に、小学校の担任と指導計画を作成することができた。(清幼) ・年長の3学期についても、1年生担任と連絡を取り合い、交流に向けた計画を作成・実施していくことができた。(清幼)	

教 育 の 重 点	19 発達段階を踏まえた幼・保・小の連携による学びの土台づくり
具 体 的 施 策	(1) 幼・保・小の交流・連携の充実
主 要 事 業	② 幼・保・小の指導のねらいの明確化と遊びを通した他の人々との交流活動の充実
具体的取組計画等 ・幼保・幼幼・幼保小のそれぞれの交流会、お楽しみ会、お祭り、こま回し会などを充実させる。(色幼) ・保育所との交流会、小学校児童の幼稚園への訪問活動を充実させる。(清幼) ・小学校と併設されている環境を十分に活用し、小学校児童との交流を一層積極的に持てるようにする。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・幼保・幼幼・幼保小、それぞれ年間を通じ充実した交流活動を行うことができた。特に今年度は保育所とのT T保育の機会を持つことができた。(色幼) ・保育所との交流会、小学校児童の幼稚園への訪問活動を充実させるように努めた。実際に、大変充実した活動を行うことができた。(清幼) ・小学校と併設されている環境を十分に活用し、小学校児童との交流を一層積極的に持てるように努め、大変充実した活動を行うことができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	20 家庭や地域・関係機関との緊密な連携による基本的生活習慣の確立
具 体 的 施 策	(1) 幼児の豊かな心と生活を支える家庭・地域・関係機関との連携
主 要 事 業	① 保護者や家庭との密接な連携による基本的生活習慣の育成や規範意識の醸成
具体的取組計画等 ・園だよりや父母の会だよりなどで情報を共有し、家庭との連携を深め、基本的生活習慣の育成に努める。(色幼) ・「園だより」を定期的に発行し、情報発信に努める。(清幼) ・父母の会による「ミニ作文集」を、本年度も発行していく。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・各たよりや連絡帳を活用したり各行事で家庭の協力を得たりしながら、情報を密にし基本的生活習慣の育成に努めた。(色幼) ・「園だより」を定期的に発行し、情報発信に努めることができた。(清幼) ・父母の会による「ミニ作文集」を、本年度も定期的に発行することができた。(清幼)	

教 育 の 重 点	20 家庭や地域・関係機関との緊密な連携による基本的生活習慣の確立
具 体 的 施 策	(1) 幼児の豊かな心と生活を支える家庭・地域・関係機関との連携
主 要 事 業	② 家庭や専門諸機関との緊密な連携による個に配慮した適切な指導と支援の充実
具体的取組計画等 ・教育相談、実務者会議、事務所のカウンセラー訪問日などを活用し、個に配慮した指導に努める。(色幼) ・要保護児童対策連絡協議会、教育相談、事務所のカウンセラー、スクールカウンセラー、児童相談所、役場福祉課の保健師等、様々な関係機関との連携を図り、指導・支援を充実させていく。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・個々のケースに応じ、児童相談所や福祉課、スクールカウンセラーなどと連携し、適切な支援をすることができた。(色幼) ・要保護児童対策連絡協議会、教育相談、事務所のカウンセラー、スクールカウンセラー、児童相談所、役場福祉課の保健師等、様々な関係機関との連携を図り、指導・支援を充実させていくことができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	20 家庭や地域・関係機関との緊密な連携による基本的生活習慣の確立
具 体 的 施 策	(1) 幼児の豊かな心と生活を支える家庭・地域・関係機関との連携
主 要 事 業	③ 幼児の安全最優先を基本に関係機関との緊密な連携による危機管理体制の確立
具体的取組計画等 ・緊急時の連絡簿を作成したり、家庭状況調査による勤務先・連絡先を把握したりして非常時に備える。(色幼) ・園児の様子や家庭環境について、町の関係機関と連絡を取り合い、一層の連携を図る。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・隣接している小学校と合同で避難訓練や引き渡し訓練などを実施し、幼児の安全を優先した危機管理体制の確立に努めた。(色幼) ・園児の様子や家庭環境について、町の関係機関と連絡を取り合い、一層の連携を図ることができた。(清幼)	

教 育 の 重 点	21 子育て支援と預かり保育の充実
具 体 的 施 策	(1) 子育て支援の充実
主 要 事 業	① 家庭や地域の子育て支援等地域の幼児教育センターとしての役割の充実
具体的取組計画等 ・預かり保育の充実を目指し、地域の幼児教育センターの役割を果たす。(色幼) ・預かり保育の担当者と常に連携を図っていく。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・預かり保育については朝夕担当者がきちんと対応しており充実していたが、5時以降学童保育と一緒にになると日によっては人数が多くなり対応に苦慮することがあった。(色幼) ・預かり保育の担当者と常に連携を図り、保育に生かすことができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	21 子育て支援と預かり保育の充実
具 体 的 施 策	(2) 預かり保育の充実
主 要 事 業	① 預かり保育の実施にあたっての諸条件・実態への十分な配慮
具体的取組計画等 ・指導員と連携を図り、預かり保育の充実を目指す。(色幼) ・預かり保育の担当者と常に連携を図っていく。(清幼)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・預かり保育の担当者と情報連携を図り、保育の充実にあたったが十分とは言えなかった。(色幼) ・預かり保育の担当者と常に連携を図り、保育活動に生かすことができた。(清幼)	

社 会 教 育

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	22 生涯学習の推進
具 体 的 施 策	(1) 学習機会の拡充と生涯学習情報の提供
主 要 事 業	① 生涯学習関係行事予定表の全戸配布による情報の提供
具体的取組計画等 ・町内各機関, 団体等の年間行事予定の情報を収集し掲載する。(公) ・年に2回, 各家庭に配布。「色麻町行事暦」とともに生涯学習情報提供に活用する。(公) ・無線ネットワーク活用による各家庭への生涯学習情報提供について検討する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・生涯学習行事予定表を前期と後期の2回発行した。町ホームページ, 有線放送, チラシなどで生涯学習情報提供を行った。今後は, 無線ネットワークの活用を検討したりなど, きめ細かな情報提供に努める。(公)	

教 育 の 重 点	22 生涯学習の推進
具 体 的 施 策	(1) 学習機会の拡充と生涯学習情報の提供
主 要 事 業	② 出前講座等を活用した学習機会の提供
具体的取組計画等 ・学習ニーズに対応した講座メニューの定期的な見直しを図る。(公) ・出前講座チラシを全戸配布するとともに, 町ホームページで広報する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・地域の老人クラブや町婦人会, JA加美よつば女性部色麻支部などを対象に年間8講座が実施された。(公) ・講座メニューの見直しや学習相談を随時行った。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	22 生涯学習の推進
具 体 的 施 策	(1) 学習機会の拡充と生涯学習情報の提供
主 要 事 業	③ 広報紙や町のホームページ, 有線放送等を活用した学習情報の提供
具体的取組計画等 ・「広報しかま」で毎月, 生涯学習のひろばで事業予定や事業の経過や報告を行う。(公) ・町ホームページで生涯学習のページを充実させ, 最新の学習情報を提供する。(公) ・事業の参加者募集などを有線放送を活用し広報する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・生涯学習情報の提供には, 「広報しかま」, 町ホームページは多くの効果が期待されるので, 今後も積極的な情報の発信に努めたい。(公)	

教 育 の 重 点	22 生涯学習の推進
具 体 的 施 策	(2) 生涯学習の環境づくりの推進(協働教育プラットフォーム事業)
主 要 事 業	① 学校, 家庭及び地域住民等相互の連携・協力の推進
具体的取組計画等 ・学校から直接又は社会教育主事を通じて, 学校支援ボランティア登録されているリストの中から, 事業にふさわしい人材を要請してもらい, 派遣・活用をもとに各事業や教育の効果を高める。(全)	
達 成 度 の 評 価	⑤ 大変満足
評価及び改善策 ・ボランティア要請から派遣までを簡略化したことで, 学校からの新たなボランティアの要請が増えた。また新しい要請に対しても希望に添ったボランティアを派遣することができた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	22 生涯学習の推進
具 体 的 施 策	(2) 生涯学習の環境づくりの推進(協働教育プラットフォーム事業)
主 要 事 業	② 新たな指導者の育成とボランティアの養成
具体的取組計画等 ・学校(含 幼稚園, 保育所)を通じて, 各種事業にボランティアとしての参加を促進する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・学校の要請に応じたボランティアを派遣することで, 新たな指導者の育成に取り組むことができた。また, ボランティアと子供たちの交流も図られている。(公)	

教 育 の 重 点	22 生涯学習の推進
具 体 的 施 策	(2) 生涯学習の環境づくりの推進(協働教育プラットフォーム事業)
主 要 事 業	③ 既存のサークル活動への支援
具体的取組計画等 ・必要な情報を提供する。(公) ・活動場所を無償提供する。(公)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・体育団体, 文化団体など町の協会を通して, 各種情報を提供している。また, 施設貸し出しなどにおいても利用者が気軽に利用しやすい施設環境づくりに努めている。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	22 生涯学習の推進
具 体 的 施 策	(2) 生涯学習の環境づくりの推進(協働教育プラットフォーム事業)
主 要 事 業	④ 学習講座参加者による継続学習のためのサークル移行の推進
具体的取組計画等 ・自主運営のノウハウのアドバイスと指導を行う。(公) ・文化協会へ加入する。(公)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・公民館事業の中で、参加者同士の気運が高まり、サークル活動へと移行できるような場合には、自主活動できるようアドバイスしたり、生涯学習相談に努めている。(公)	

教 育 の 重 点	22 生涯学習の推進
具 体 的 施 策	(3) 生涯学習施設の効果的活用の促進
主 要 事 業	① 気軽に利用できる環境づくりと学校教育施設の開放
具体的取組計画等 ・学校施設を利用ルールなどを明確にしながら生涯学習活動の場として有効に活用する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・社会教育施設を親しみを持って気軽に利用できるよう来館者へのあいさつ励行に努めたり、来館しやすく利用しやすい雰囲気と施設環境づくりに努めた。(公) ・体育館などの公共体育施設が予約がいっぱいで利用できないような場合は、利用者の希望に応じて学校体育施設を勧めたりなど利用ニーズに対応している。学校体育施設の開放では鍵の受け渡しが便利に円滑に行えるよう努めている。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(1) 幼児教育の充実
主 要 事 業	① 幼児期を対象とした情操教育の場の提供
具体的取組計画等 ・幼児教育事業で, あそびうたコンサートなどを通し, 音楽を身近に鑑賞する機会を提供する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・幼稚園, 保育所, 子育て支援センターの幼児並びに祖父母, 保護者を対象に学習機会を提供した。(公) ・子どもたちが遊びやふれあいを通して, 交流を深めたり, 身近に音楽や運動に触れることによって豊かな情操を育む機会を提供することができた。(公)	

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(1) 幼児教育の充実
主 要 事 業	② 幼稚園・保育所及び児童センターとの連携強化
具体的取組計画等 ・祖父母(親子)レクリエーション, 体育遊び, あそびうたコンサートを計画する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・事業計画立案や事業後の反省点に基づいた情報を共有し, 次年度への取り組みに活かされている。幼稚園, 保育所, 子育て支援センターなどの各関係機関が連携を深めながら取り組んだ。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(2) 家庭教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主 要 事 業	① 子育て・親育ち講座の開催
具体的取組計画等 ・小学校と幼稚園の保護者を対象に4会場で, 子育て, 子どもの生活習慣, 食育などをテーマとした「家庭教育講演会」を開催する。(公)	
達 成 度 の 評 価	⑤ 大変満足
評価及び改善策 ・家庭教育講演会は, 小中学校, 幼稚園で計5回実施した。子どもの生活習慣, 健康, 食育などのテーマで, 講師や講演内容は好評であった。(公)	

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(2) 家庭教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主 要 事 業	② 家庭教育, 子育てに関する相談体制の充実
具体的取組計画等 ・平成21年度に実施した, 訪問型家庭教育事業の支援チームとして携わったメンバーが, 放課後子ども教室の安全管理指導員をしていることから, 訪問型事業等で培った家庭教育のノウハウを, 必要に応じて保護者に提供する。(公)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・放課後子ども教室等において, 安全管理指導員がその都度保護者からの相談に応じるように努めた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(2) 家庭教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主 要 事 業	③ 家庭教育の情報提供
具体的取組計画等 ・家庭教育講演会の内容や, 必要な家庭教育情報を掲載した広報紙「ほっとたいむ」を発行し, 全戸配布する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・プラットフォーム事業の内容や家庭教育に関する情報を保護者の目線で捉え, 広報紙「ほっとたいむ」としてまとめ, 年間4号を全戸配布することができた。(公)	

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主 要 事 業	① 地域教育力の再生に向けた青少年の体験活動・ボランティア活動の支援
具体的取組計画等 ・サマーキャンプ, こどものまち, 合宿通学等を実施する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・サマーキャンプ, こどものまち, 合宿通学等を計画通り実行することができた。また, 新たな事業として, 手作り教室を実施し, 事業の充実を図ることができた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業
主 要 事 業	② 地域ぐるみで青少年を守り育てる体制の整備
具体的取組計画等 ・学校, 家庭, 地域の連携のもと, 心身ともに健全な青少年を育む。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・児童の登下校時の安全確保や地域の人々が講師となる学校支援の活動を推進した。地域の教育力が向上している。(公)	

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業
主 要 事 業	③ 放課後における子どもたちの安全・安心な居場所の確保
具体的取組計画等 ・放課後子ども教室推進事業を色麻・清水両小学校の2教室を学童保育と連携しながら実施する。放課後子ども教室は長期休業日や土日祝祭日を除き, 年間200日を計画。学童保育は, 長期休業日や土曜日も開設する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・国の委託事業として実施。清水・色麻両小学校とも大きな事故もなく実施することができた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主 要 事 業	④ ジュニアリーダーの育成と地域貢献の機会拡大
具体的取組計画等 ・ジュニアリーダー初級, 中級, 上級の各研修会やサマーキャンプ, こどものまち, セタ会, クリスマス会等の各種事業を通して, 資質の向上を図る。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・ジュニアリーダー初級, 中級, 上級研修会すべてに町から多数のジュニアリーダーが参加し, 研修に参加し資質の向上に努めた。また, 研修で学んだことをキャンプや定例的な行事, 子供会の派遣行事等で生かすことができた。(公)	

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主 要 事 業	⑤ 青年たちの広域的な出会いや交流機会の提供
具体的取組計画等 ・大崎定住圏共生ビジョンの青年交流事業の一環として, 大崎管内の市町が一体となって, 未婚者の出会いの場を提供する交流会を実施する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・定住自立圏青年交流事業として夏と冬の2回, 青年の交流事業が行われた。出会いの場を設定するのに有効であった。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主 要 事 業	⑥ 青年の地域活動支援
具体的取組計画等 ・大崎地方青年文化祭(ユースフェスティバルin大崎)に参加する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・大崎地方青年文化祭(ユースフェスティバルin大崎)に地域の団体が参加し地域の連帯感を深め交流を図ることができた。(公)	

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(4) 成人教育の充実
主 要 事 業	① 成人式の開催
具体的取組計画等 ・式典は成人者による実行委員会の企画で実施している。内容は国歌ピアノ伴奏者, 町民憲章朗読者, 誓いの言葉朗読者, アトラクションの内容などを決める。また, 成人者, 恩師, 来賓へ原稿を依頼し, 記念文集「はたち」を作成する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・該当者69名のうち, 出席者は61名で, 出席率は, 88. 4%であった。成人式実行委員会を組織し, 記念文集「はたち」を作成した。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(4) 成人教育の充実
主 要 事 業	② 成人の多様な学習ニーズに対応する事業の推進と学習機会の拡大
具体的取組計画等 ・様々なライフステージと今日的な課題の様々な学習ニーズに対応したヨガ教室等の学習機会を提供する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・学習ニーズに対応した事業ができている。健康づくりとともに参加者同士の交流とコミュニケーションづくりにも効果的であり, 参加者も心に潤いや彩りを持つことにもつながり, 生きがいを感じているようである。(公)	

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(4) 成人教育の充実
主 要 事 業	③ 外国語や異文化にふれあう機会の提供と国際理解の推進
具体的取組計画等 ・ALTを講師に外国語教育, 国際人としてのセンスやマナーを身に付けることを目的とした英会話教室などの機会を通して, 異なる文化に対する理解を深める。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・ALTのハロルド先生と山形大学の佐々木先生を講師に春期英会話教室を開催。初心者のための外国語習得のほかに, クッキング教室なども行われ, 料理を通して異文化に触れ合う機会とした。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(4) 成人教育の充実
主 要 事 業	④ ボランティア活動と地域活動への参加の推進
具体的取組計画等 ・学校支援ボランティアをはじめ, 運動会スタッフ, こどものまち, 読書ボランティアなど地域のニーズと町民の間をコーディネートし, 無理のない活動ができるよう取り組み, ボランティアに参加する町民も生きがいにつながるようなボランティア活動の機会をつくる。(公)	
達 成 度 の 評 価	⑤ 大変満足
評価及び改善策 ・小学校の授業の中で, 縫い物や農業体験などで地域の講師として指導してもらい, 学校支援ボランティアとして協力を得ることができた。(公) ・町民運動会のボランティアスタッフとして大会運営に協力してもらった。(公)	

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(4) 成人教育の充実
主 要 事 業	⑤ 生活合理化運動の推進
具体的取組計画等 ・「すばらしい色麻を創る協議会」を中心に生活合理化運動, あいさつ運動, 見守り活動などの普及啓蒙を積極的に図る。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・「心あわせて創りだす, ゆたかな住みよい町づくり」をキャッチフレーズとしたリーフレットを全戸配布し, 生活合理化運動の啓蒙を図った。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(5) 女性教育の充実
主 要 事 業	① 女性の特性を活かした地域社会活動への参加の推進
具体的取組計画等 ・婦人会活動への支援・協力を行う。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・婦人会が実施する事業が様々な学習活動や地域コミュニティ形成につなげていけるよう取り組みに協力し, よりよい女性教育が推進できるように努めた。(公)	

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(5) 女性教育の充実
主 要 事 業	② ニーズに応じた学習講座の実施
具体的取組計画等 ・各種講座を開催する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・女性に限定した講座は開催していない。成人教育事業の中で幅広く女性の参加者が増えるような講座開催の工夫をしている。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	23 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具 体 的 施 策	(6) 高齢者教育の充実
主 要 事 業	① 高齢者の「健康」と「生きがい」につながる学習講座や研修の実施
具体的取組計画等 ・豊齢者学級の学習カリキュラムの中で, 健康づくりへの関心を高め, 生きがいにつながり気軽に取り組めるような学習機会を提供する。(公)	
達 成 度 の 評 価	⑤ 大変満足
評価及び改善策 ・豊齢者学級を福祉課と連携して6回開催した。消費生活, 健康, 食をテーマにした内容で好評だった。今後とも高齢者が生きがいを持って取り組めるよう学習機会の提供に努める。(公)	

教 育 の 重 点	24 芸術文化活動の振興
具 体 的 施 策	(1) 芸術鑑賞の機会の提供と拡充
主 要 事 業	① 巡回小劇場や青少年劇場小公演の企画と実施
具体的取組計画等 ・巡回小劇場は, 小学生を対象として香り高い芸術鑑賞機会を提供し豊かな情操を養う。演劇鑑賞。(公) ・青少年劇場小公演は, 中学生を対象に優れた芸術を身近に鑑賞し豊かな情操を養い, 青少年の豊かな人格形成を図る。音楽鑑賞。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・香り高い芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供し, 豊かな情操を養い, 豊かな人間性を養うことができた。(公) ・生の演奏を聴くことができたことは, 子どもたちにとってよい体験になった。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	24 芸術文化活動の振興
具 体 的 施 策	(2) 芸術鑑賞の機会の提供と拡充
主 要 事 業	① 町文化協会の活動及び支援体制
具体的取組計画等 ・さなぶり芸能大会の実施…郷土芸能の振興を図る(郷土芸能の発表, 婦人会等チャリティ)。(公) ・町民文化祭の実施…町文化協会加盟団体の作品展示及びステージ発表を行う。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・文化活動の中心である文化協会と協力・連携して町民文化祭を開催し文化活動の推進を図ってきた。今後, 初心者向けの講座開催など様々な芸術活動に触れる機会をつくっていききたい。(公)	

教 育 の 重 点	24 芸術文化活動の振興
具 体 的 施 策	(2) 芸術鑑賞の機会の提供と拡充
主 要 事 業	② サークル活動への支援
具体的取組計画等 ・町民の生涯学習活動を担う自主学習サークルを育成, 支援し町民が様々な形で生涯学習に参加できる環境づくりに取り組む。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・学習意欲を持った参加者同士の支援として, 農村環境改善センターを活動場所として提供したり, 様々な情報提供や学習相談に応じたりなど, 育成と支援を行っている。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	25 文化財保護体制の整備充実と活用の推進
具 体 的 施 策	(1) 文化財保護体制の整備
主 要 事 業	① 文化財保護管理事業
具体的取組計画等 ・文化財パトロール: 県文化財保護地区指導員による埋蔵文化財の現況調査を行う。(公) ・文化財防火デー(毎年1月26日)に、町消防部局とともに町内文化財防火行事を行う。(公) ・南奥羽山系カモシカ保護地域の調査(24・25年度は補助)及び保護・記録のための対応を図る。(公) ・文化財指定のための調査及び新規の文化財指定を行う。(公) ・各種開発に際して、埋蔵文化財保護のための協議、調査などを実施する。(公) ・文化財保護審議会による文化財保存及び活用に関する調査審議を行う。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・年3回の審議会を開催し、審議を行った。(公) ・町道の開発、個人住宅の新築等に際し、法に基づいた対応を行った。(公) (窓口対応26件／工事立会3件／協議2件) ・岩手・山形・宮城のカモシカ特別調査への協力のほか、死亡個体に関する記録作成と埋葬を行った。(公) (埋葬2件) ・文化財パトロール(県主催)で、史跡1件・遺跡5件の調査を実施した。(公) ・文化財防火デーに、県指定有形文化財安置寺の往生寺の火災防御訓練を実施した。(公)	

教 育 の 重 点	25 文化財保護体制の整備充実と活用の推進
具 体 的 施 策	(2) 史跡の整備
主 要 事 業	① 史跡の整備
具体的取組計画等 ・指定史跡(国指定「日の出山瓦窯跡」・県指定「念南寺古墳群」)及びアクセス道路の整備を行う。(公) ・老朽化した木製の文化財標柱をアルミ製の物に更新(年1本)する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・指定史跡及びアクセス道路の整備を行った。(公) ・小栗山地区の七不思議に説明板を設置した。(冬前に撤去)(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	25 文化財保護体制の整備充実と活用の推進
具 体 的 施 策	(3) 伝統・伝承芸能活動の積極的な支援
主 要 事 業	① 伝統・伝承芸能活動の積極的な支援
具体的取組計画等 ・町指定無形(民俗)文化財の奨励を行う。・・・清水田植え踊り・清水神楽。(公) ・伝統芸能及び郷土芸能活動の奨励を行う。・・・高城獅子踊り・カッパブギ色麻・河童太鼓・仙北麦つき踊り・桜花太鼓・加美松坂節保存会・色麻小河童太鼓・清水小清水神楽。(公) ・町文化協会と連携し、伝統・伝承芸能の記録保存及び公開事業を行う。(公)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・町指定無形文化財(2件)及び伝統・郷土芸能活動の奨励(7件)を行った。代表者不在により、活動状況が不明な団体があるため、新たな代表者と今後調整を行う。(公) ・「伝統行事記録保存事業」として、小栗山地区船形神社のご開帳神事の映像記録を作成した。成果品として、記録冊子とブルーレイによる映像記録が完成した。(公) ・町文化協会と協力し、町指定無形文化財の公開に努めた。(公)	

教 育 の 重 点	25 文化財保護体制の整備充実と活用の推進
具 体 的 施 策	(4) 町内の文化財や資料展示室等を活用した学習機会の提供
主 要 事 業	① 町内の文化財や資料展示室等を活用した学習機会の提供
具体的取組計画等 ・町内史跡めぐりに講師が対応する。・・・念南寺古墳群・日の出山瓦窯跡・荒川堰等ほか。(公) ・健康ウォーキングでの史跡講話を行う。・・・福祉課主催によるウォーキング時の講話。(公) ・資料展示室における各種展示及び関連事業を実施する。(公)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・町内史跡めぐり等において講師を行った。(町外の愛好会・教職員研修・小学生総合等)(公) ・百笑ウォーキングにおいて、国史跡「日の出山瓦窯跡」に関する説明を行った。(公) ・資料展示室において、刀剣の企画展・町指定文化財の公開等を実施した。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(1) 生涯スポーツの普及振興
主 要 事 業	① 町体育施設の環境整備
具体的取組計画等 ・体育施設の維持管理, 修繕, 除草等を行い, 多くの町民が安全で効率的に利用できるよう調整を図り, スポーツ振興に努める。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・利用者が気軽に安全に気持ちよく利用できるよう施設の安全管理と, 清掃整備, 維持管理に努めた。(公)	

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(1) 生涯スポーツの普及振興
主 要 事 業	② 町体育施設の効率的運用
具体的取組計画等 ・体育施設の予約状況を把握し, 多くの町民が安全で効率的に利用できるよう調整を図り, スポーツ振興に努める。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・施設利用の申込みに際しては, 予約方法などを工夫して, 多くの町民が利用できるよう努めている。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(1) 生涯スポーツの普及振興
主 要 事 業	③ スポーツ推進計画に基づく事業の推進
具体的取組計画等 ・平成24年12月色麻町スポーツ推進計画策定委員会を設置，計画の審議を重ね平成25年3月に色麻町スポーツ推進計画を策定した。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・スポーツ推進計画の4つの指針「生涯スポーツの普及」「生涯スポーツ組織の整備」「生涯スポーツ指導体制の確立」「生涯スポーツ環境の整備」を基に，町のスポーツ振興を図っていく。(公)	

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(1) 生涯スポーツの普及振興
主 要 事 業	④ 総合型地域スポーツクラブの設立準備
具体的取組計画等 ・色麻町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を平成24年12月に設置した。準備委員会において，スポーツに関するアンケート調査を行い，町民のニーズを把握し，色麻町にクラブの必要性を検討していく。(公)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・小中学校の児童・生徒とその保護者を対象にスポーツに関するアンケート調査を行った。集計結果などを踏まえ，クラブの必要性を検討する。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(1) 生涯スポーツの普及振興
主 要 事 業	⑤ コーディネーショントレーニングの普及
具体的取組計画等 ・コーディネーショントレーニングを取り入れた研修会を実施する。(公) ・有資格者にスキルアップの機会を提供する。(公)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・コーディネーショントレーニングを取り入れた研修会を小中学校、幼稚園の教諭を対象に実施し、学校、幼稚園の生徒・児童、園児にコーディネーショントレーニング普及を図っていく。	

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(2) 各種スポーツ大会の実施
主 要 事 業	①② 町民大運動会の開催 スポーツイベント「チャレンジデー」の開催
具体的取組計画等 ・町民一体となって町民大運動会を開催する。また5月の最終水曜日にチャレンジデーを開催し、スポーツの普及・啓蒙を行う。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・町民一体となって町民大運動会や各種スポーツ大会を行ったが今後もスポーツの普及・啓蒙を図っていく。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(2) 各種スポーツ大会の実施
主 要 事 業	③ 各種スポーツ大会の実施
具体的取組計画等 ・官民協働による町民大運動会や体育協会との緊密な連携のもとに、各種スポーツ大会及び事業(バドミントン・バレーボール・ボウリング・キンボール・野球・バスケットボール・ソフトボール・登山・スキー等)を実施する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・町民総合スポーツ大会は、体育協会との連携のもと実施したが、参加チームに偏りがあった。(公)	

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(2) 各種スポーツ大会の実施
主 要 事 業	④ 各種スポーツ教室の実施
具体的取組計画等 ・スポーツを楽しむ親しむ機会を設け、日頃の運動不足の解消を図る。主に、秋～冬期間のスポーツ(登山・スキー等)を実施する。また、チャレンジデーではスケボー教室を実施する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・チャレンジデーに合わせてスケボー教室を開催した。また、冬にはスキー教室を開催した。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(3) 子どもの体力・運動能力の向上に向けた取組
主 要 事 業	① 親子レクリエーションの開催
具体的取組計画等 ・幼稚園, 保育所, 子育て支援センターで実施する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・幼稚園や保育所を対象に宮城県レクリエーション協会より講師を招き, 幼児教育事業と連携して, 親子レクリエーション等を実施し体力運動向上と触れ合いを深めた。(公)	

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(3) 子どもの体力・運動能力の向上に向けた取組
主 要 事 業	② 体育遊びの開催
具体的取組計画等 ・幼稚園, 保育所, 子育て支援センターで実施する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・幼稚園, 保育所, 子育て支援センターの親子を対象に, 幼児教育事業と連携して, 様々な運動を体験することで, 運動することの楽しさを感じるとともに, 親子の交流を深めた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(4) スポーツ少年団活動の支援
主 要 事 業	① 町スポーツ少年団への支援
具体的取組計画等 ・スポーツ少年団事業(入団・修了式, スポーツテスト, 研修会等)に対する支援を行う。(公) ・体育施設, マイクロバスの貸し出しなどを行う。(公) ・活動を適正化するための指導・助言を行う。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・スポーツ少年団事業(入団・修了式, 研修会等)実施に対する支援を行った。(公) ・町内体育施設及びマイクロバスの貸し出しを行った。(公)	

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(4) スポーツ少年団活動の支援
主 要 事 業	② 町スポーツ少年団指導者の資質の向上
具体的取組計画等 ・スポーツ少年団指導者に対する研修機会・情報の提供を行う。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・指導者及び母集団(保護者)に対する研修会の支援及び情報提供を行った。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	26 生涯スポーツの推進
具 体 的 施 策	(4) スポーツ少年団活動の支援
主 要 事 業	③ 町スポーツ少年団の案内
具体的取組計画等 ・団員・指導者登録の窓口として、募集、登録、保険の諸手続を行う。(公) ・新規団体設立のための支援を行う。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・団員・指導者登録の窓口業務を行い、募集・登録・保険加入の諸手続を行った。(公)	

教 育 の 重 点	27 図書事業の推進
具 体 的 施 策	(1) 図書室の活用促進
主 要 事 業	① 居心地の良さと機能性を持たせた図書室の経営
具体的取組計画等 ・公民館図書室からのお知らせを随時、広報紙に掲載し、図書室の利用案内や新着本の情報を提供し、気軽に訪れることができ、心落ちつける図書室となるよう読書環境づくりを進める。(公)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・図書の一般貸出は少ない。図書室利用案内や新着図書などの紹介をしている。今後は、学校図書館に併設される公民館図書コーナーの充実を図り、気軽に図書室を訪れやすい読書環境づくりを検討する。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	27 図書事業の推進
具 体 的 施 策	(1) 図書室の活用促進
主 要 事 業	② 図書まつりの開催
具体的取組計画等 ・絵本の読み聞かせを通して、本と触れ合い、読書の楽しさを知る機会を提供するため、移動図書まつり「おはなし会」を幼稚園、保育所、子育て支援センターで実施する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・移動図書まつり「おはなし会」として、幼稚園・保育所において実施した。子どもたちは、本と触れ合い、読書の楽しさを知り感性を養うとともに、慈しみの心を育てることができている。(公)	

教 育 の 重 点	27 図書事業の推進
具 体 的 施 策	(2) 読書習慣の定着が図られるような図書環境づくり
主 要 事 業	① 移動図書「なかよし号」の巡回
具体的取組計画等 ・移動図書館「なかよし号」で町内各地区集会所、幼稚園、保育所、子育て支援センターを巡回訪問する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・5月～11月まで、幼稚園、保育所、子育て支援センター、各地域を巡回し、本の貸し出しや読書ボランティアによる読み聞かせやアトラクションを実施し読書習慣の定着に努めた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	27 図書事業の推進
具 体 的 施 策	(2) 読書習慣の定着が図られるような図書環境づくり
主 要 事 業	② 親子読み聞かせ講座等の実施
具体的取組計画等 ・県との共催により、「読み聞かせボランティア養成講座」を実施し、ボランティアを育成するとともに、基本的知識と技能を習得する機会を提供する。(公)	
達 成 度 の 評 価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・県との共催により、「読み聞かせボランティア養成講座」を4回実施し、読み聞かせや紙芝居の知識や技術の向上を図った。今後は、読書ボランティア活動の場を提供するとともに、活動が広がるよう工夫していきたい。(公)	

教 育 の 重 点	28 情報技術・視聴覚教育の充実と振興
具 体 的 施 策	(1) 大崎生涯学習センターの活用促進と基本的知識や能力を習得する機会の提供
主 要 事 業	① 大崎生涯学習センターの利用案内
具体的取組計画等 ・パンフレット等を配布し周知を図る。(公)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・パンフレット等を公民館や清水コミュニティセンター等で配布し周知を図った。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成25年度事業)

教 育 の 重 点	28 情報技術・視聴覚教育の充実と振興
具 体 的 施 策	(2) 各種視聴覚教材ソフトを活用した学習活動の推進
主 要 事 業	① 保育所, 幼稚園及び小・中学校が借用する各種視聴覚ソフトの受取と返納の手続き
具体的取組計画等 ・大崎生涯学習センターより送付される各種視聴覚ソフトを円滑に受け取り, 返納できるよう連絡体制を充実する。(公)	
達 成 度 の 評 価	③ 普通
評価及び改善策 ・各種視聴覚教材の貸し出し, 受け取り返却業務は, 円滑な運営が定着している。(公)	

色麻町教育委員会事務事業点検評価意見書

(平成 2 5 年度事業)

色麻町教育委員会事務事業点検評価（平成25年度事業）意見書

少子高齢化や人口の都市部への流出など、色麻町でも子どもや若者の減少傾向の中、子どものいる世帯への住宅の優遇貸与や宅地の無償提供等を講じている町当局へ敬意を表したい。

教育委員会では全町民が豊かで充実した生き方をするために教育基本方針を策定し、学校教育並びに社会教育の各種事業を展開・推進している。これら各種事業の具体的施策や重点事業等の実施状況について点検評価を行い、様々な課題や今後の改善方を明らかにし、効率かつ効果的な教育行政の推進を図っている。平成25年度は平成26年4月の小中一貫校開校に向け、5年の歳月を重ね、町の将来を担う子どもたちの教育環境を整える総仕上げの年であり、町民の期待に応えられる事業となったようである。

事務事業点検評価は具体的施策に基づく180の主要事業の取り組みと達成度を5段階で評価し、更に文章による評価及び改善策が示されている。項目ごとの達成度評価は、大変満足2.8%、概ね満足77.2%、普通17.8%、やや不十分2.2%となり、大変満足と概ね満足で80%を達成している。昨年より15%の伸びは小中一貫校開校に対する意気込みを感じるとともに町民との関わりが大変大きく、町民の活力を取り入れた施策を大いに評価する。また、評価書は毎年改善が図られるとともにその成果は次年度に生かされており、これを見ると1年間の教育委員会の指揮監督する事務事業とその成果の詳細が分かる素晴らしいものである。特に「7 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫」の達成度は大変満足、概ね満足合わせて前年度の31%から100%と大きく上昇し、成果が上がっていることが分かる。同様に「8 各発達段階に応じた「志教育」の推進」の達成度は概ね満足が前年度の25%から更に大きく上昇して大変満足も合わせて100%という状況であり、子どもたちは夢を大きく持ち、意欲的に学ぼうとする姿勢が身に付いてきていることが分かる。

教育行政のハード面については、グラウンド整備を除き、小学校の建設、中学校の改修工事が無事終了し、素晴らしい教育環境が整えられた。町民にも校舎を見学できる機会を与え、多くの町民が素晴らしい小学校を目にすることができたとともに、子どもたちがこの様に整備された学校で学べることの喜びを感じると思うと先進的な施策としていち早く着目し開校を迎えたことは非常に高く評価できる。

学校教育については、学校と地域・保護者が協働し子どもたちの為に熱心に取り組んでいる様子から「すべての子どもたちの為に」という公共性の高い教育を推進している。さらに開かれた学校教育を推進する為に、関係者の知恵や経験を出し合うなど、少しでも質の高い教育を実現しようとする町民の熱意とそれを支援する行政の施策は着実に定

着している。

教職員の授業力向上のために校内研究体制を充実し、研修の活性化に努められたことが、本年度の大きな成果となっている。両小学校、小中の連携により交流活動及び授業の充実、そして行事への参加が図られたことは小中連携に大きく貢献されたと評価する。

「生徒の学習習慣の確立、定着は教師の働きかけと表裏一体を意識しながら学習意欲向上のための指導方法等について検討を加え実践した」という記述から、教師の真剣で謙虚に努力する姿が伺える。そして、「各アンケートや学力テストから学習意欲の高まりと基礎学力の定着が分かる」の記述から変容した子どもの姿が分かる。子どもの心に火をつけた教師の働きかけに感激するとともに教育の無限の可能性を実感した。但し、教職員の資質向上と福利厚生の実現が図られなかったことは残念であり、今後は各職責や分掌に即した個人研究への更なる取り組みと小中教職員の交流の充実に努めてほしいものである。また、教職員の言葉遣いで児童生徒の向上心、やる気の低下、自己啓発を失うことのないよう万全の策を講じるとともに、子どもたちの自ら学び考える力や、豊かな人間性などの「生きる力」を育てる教育を希望し、教職員のさらなるスキルアップを期待する。

図書事業については、移動図書「なかよし号」での巡回訪問など、図書の利用促進のための魅力ある取り組みと高く評価する。また、新小学校校舎に整備された学校図書室については、県図書館との連携を図り、充実した図書整備を行い、地域に開かれた図書室づくりの推進に努めていただくよう期待するとともに、児童生徒の活字離れが懸念される時代でもあり、「朝読書」等の手法で図書室の利用活性化にも努めてほしいものである。

社会教育については、ライフステージに応じた教室講座等の事業は、4項目において大変満足と評価しており、幼児から高齢者まで学校支援ボランティア活動を生かした学習内容を展開し、学習の充実に努めた成果と思われる。多くの町民が関わりを持ち町全体の活性化を高めて行くよう更なる努力を願うものである。

“伝統と誇りは永遠に” 地域の人々に親しまれてきた色麻・清水の両小学校では、141年という長い歴史に幕を下ろす年となり、最後の行事、活動への取り組みは、職員・児童・保護者・地域住民にとって大変意義深いものになったことと思う。小学校では、水泳・持久走・縄跳び等の大会を実施しており、今後も継続し、児童に目標を与え、進んで運動に親しむ姿勢を導いてあげる様に努めてほしい。中学校では、部活動や体育活動での体力向上に成果があり、各大会での上位入賞を多く感じた。今後も、教職員の英知を結集して全校生徒の体力向上に向けた取り組みを期待する。

今後は町の学校「小中一貫校」として、新たな教育行政の事業が始まる。これからも

安全で安心な学校生活が送れるように学校評価や学校評議委員会，学校アンケートでの意見や助言をいただき，学校運営に努めてほしい。また，学校の自主性・自立性を高め，教育活動の成果を検証し，学校運営の改善と発展を目指し，地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進してほしい。さらに，閉校した両小学校と色麻中学校の特色ある教育活動をひとつに集約し展開することを望むとともに，事務事業点検評価書の評価のあり方に基づき小中一貫校での「事業の必要性」「事業の効率性」「事業の有効性」を見直し，より効果的な教育行政の推進に努めることを期待する。

色麻町教育委員会事務事業点検評価委員

武	藤	と	し	子
浅	野	孝	幸	
伊	藤	洋	子	

平成26年8月

評 価 者

色麻町教育委員会

学識経験者

委員長 児 玉 輝 夫

武 藤 とし子

委 員 佐々木 景 喜

浅 野 孝 幸

委 員 小 川 泰 子

伊 藤 洋 子

委 員 武 田 由 紀

教育長 菅 原 利 之